支の共同作戦方策を

気金目で

車をもつて北部綏遠の防備を擔當せしめ、

市民の福祉增進

天津治安維持會布告を發す

上海二十一日間盟】左覧大學と「臓器化」これで

周十班軍官學投行助い所介行をある。 (南京 日間盟) 難改學は維洲線

と活動を行つてろかが、最近都 人養勇働と同一資格の下に朝鮮人

上午的一時四十分朝鮮人寶

抗敵會を結成 海左翼大學

> 越左狭龍を行ったい方、批目帰女 また除好謝の組織など五項目の流

着した、彼ら北上中央軍の権戦的。程で一日を戦神線を北上諸州に到

態度はいよく適何となった

將韓會見

選した報告によると北支任部の朝 院朝鮮人を内地人同様に指導派動

「北小」日初盟」北平治安唯持館

することくなり、民際長を中心に

既能・人指導の目前で本財職員の派遣及

脳も南京入り

大津一日同盟」天津市自治等は一日成立しました。如

【南京一日同盟】軍事委員會は河北、綏遠、山東、河南、山西、祭哈爾の北支共同方策を定め、徐州軍事會議で

(仁) 日閣錫山に山西、綏遠、祭哈爾三省の連防計畫を提議した、湯恩伯以下の中央軍を以て東部を、又趙承綬

山西軍主力を平級線沿線に事結せしめ即時出動準備をなすやう命じた

隴海、津浦、膠湾の四鐡道を中心とする河北、山東、河南三省の具體的共同作戦計畫を定め

事態が擴大し由東に波及した場合。由合せが遂げられてある機様であ でもなく。既に蔣肇國者の間には、して山西の開闢山も今明日中に南 の野衆哲合せにあることは言いている。なに縁の鹿息行と肺を間じう

日は來数値に亘り支那軍の不法 下信行為の根源地として利用せら

が加藤高阪により根本能に修理せ れた配切の支那兵祭は、昨、日我

(地より演繹し退却せん第三十人)天建二日同盟! 我が軍の憲法と 敗残兵馬厰に集結 れ且取機の便と除約二十名を帰

三十一日の戦況



の可及随連かな

決定した

滅全群虫害噴

機能の中理道

の重要性を就き永井課用に喰つ てからつた後 繋ぐ北部町路 ・ 大学の場所を理解 (中世日園門) は、世界知る。日本の場所を理解 (中国) 日本門 (中国) 日本 (中国) 日本

南苑) 東京少斯濱地為雄〈廿八日 南苑)

步兵大尉池井河三郎(廿八日國)(廿八日國)(廿七日國河村)

秀な健園船を

日本海に慢

に立つたのは

売)同千葉平吉(前同) 工兵少尉伊靡金天郎(廿八日南

天津治安

位からかたと今度は堀て上げ

にニャリ「凸版は永井越相) つって、水ル酸相は壊つたさら 人談院と江木丁之君と永井職相 世日気なせしめとこと論じた場

事變の擴大如何では

更に重要任務遂行

【天津一日同盟】金湯橋野桑市場

則されてみたが

金湯橋野菜市場

に活躍す

維持會

强

劑虫殺

した、之により一門は、京原の まを離した、二日委屈使能と地に 出る権力に関し治安維持に関する布 正式に低能されることになったの 首席に既任した高後尉氏は一日九 第一回委員何を開き、天津の治安 天津一日間間! 天津市安施特會

野兔の鯱芝に備まされてゐた。自

態である

維持再後強を調することになった

全國抗敵後援會 一日を期し組織

で元報な同語・中央版館指導の下に打つて一丸とで元報な同語・中央版館指導の下に打つて一丸とを言つけ徐ろったれてある流徹後接着を組織化した書うけ徐ろ 郷地域の見地カル日下各地に設立

【四景一日同图】 國民政府は國家

伊佛英国

詐特曹專

閉され人域不可能と知る中態政に、に釣り上げた、健

辿り着いた同盟国 那柳春春公局の郷

服く 者のり間にロー

を揺さつけ徐ろ 技を得て安康記

1

記者を取替いて萬酸を絶料、その

川岸部隊より

公報

遞信辭令 (1111)

班信拉手 他原丁之吉木面市事出版所

命群山海事出船所長 人

る公報は二日左の如く認表された 川岸部隊より逃した職死者に闘す

(括弧内は骶死日と 場所及 び住

步兵少尉大爆空四郎(廿八日郎

任藥劑少將

佐 西城 正之

れてあると汪滑僧唱破 天地支黃 支那は七、八十年日本より班

在獸醫少將(各語)

新聞班長更迭

に日に成しめ調べたところ 正にその通り、これ様文の既

せられ一日渡命さい

令 れた

日附盤令)

災職後低には歩兵大佐闘守氏が補

三部大佐は今回の異動で部院長に「東京電話」降取省新聞班長臺灣

孫文の後巻きは日支提供の為

- 3家

植築山地方法院游览支鹽梅事。 点域地方法院游览支鹽梅事 商億千代作

院井邑支廊榱事 温支廊榱事

に百能を振するの豊唐が要る 然るにあべこべに欧米と提携 國民政府は經濟。以交を紹合し て百能をでつも上げてしまつ

数機に應するの機能に置き、軍司

師際長の内容強化を関り連

軍司令官及び師團長

親補式舉行さる

職軍兵監部附被仰付 職軍兵監部附被仰付 関軍少將 井出 鐵廠 補料整徳兵県投資事 陸軍少將 大賞 茂 開軍少將 大賞 茂

大百 茂 帕經理學校長

机学本部附被仰付 陰軍少將 鈴木 率道

「東京市話」陸軍八月の大異動に 金印司令官及ひ師際長等の規補

郷行でかた、その他は内閣

任騎兵少佐

一般令した、今天の異動は時局の重 人性に重み上版者の異動の他は一

雅東京養備司令部替款長 雅東京養備司令部替款長

まる七月、十日杉山陸相が参内 御允叔を叩ぎ二日ぞの第一次を

天津治安維持曾、委員長治慶龢・謝鮮は劉紹根、委員・王朝号、王竹林、邱玉朝、朝瀬師、劉玉書、倭禮字、劉慶卿につき總目の方針を決定、二日より市職の回復につき通頻を閉始することになつたが、委員の領謝・和左の如し

大異動けふ發令

進級二千五百名、轉補三千四百名

待命五十名に及ぶ未曾有の多數

植中部历版司令部零集長

陸市中将 江极英关邸 植步兵第二十二底图 防澤飛行學校長

植步兵第二十九版图長

組步兵第十六族鹽長

桶步兵第三十歲醫長

陸軍少將 育原 道大

|委員の預備れ | 「天津一日間盟」天津治安頼機能は一日市政府総館局において改立初配合せを伝った上、今後の書

抱重をかける結果となり一般民衆 次活派となり加ぶるに駆撃代表の

抗日後援前を組織し「日本苗嶼上

一日南京學生界

七月二十九日<u>通州</u>鄉 午後八時三十分發表 「天津一日同盟」支原

が近の歴頭に

「病介石除被」「日貨館」影談に達した情報によれば左の姐」

る意思はさきに勇介石の源表した。即5首都各架流日後援逆を中心と「衆主国の実験計場、動義者よの歴日安継派した注射衝の時局に對す。域すべき情勢を展願しつくある。「由頭演説「興雨 浪闘などを見て込む

直面遊乱、映画、海州などを見て

2各種民衆教日謝體の活動は新 間常嬰鬼運動に大々的に乗用する

長期抵抗方針に出るさらな なあに、そのうちに國民政府

が解消してしまひます 個職を至つばにして置き去り

虫京南

(香通)

艦隊

にした海無数数長と家組設 月給を跳へる間だけが海の形

株式會新 木村 製 桑 佐子岡祭店白貨店祭品部にあり

四軍省人事局政募派長

【モスコー一日同盟】 市令国ヤー

メリカ極東監察 変は去る二十 したが、四日 路歸國

御殿を抜錨一路

他を戦撃した號外を設行で運転致一個民政府が經濟断交密令」その 號外發行 二日

祖國愛に 急轉向

愈よ各宗教團體が總立ちで

超非常時局に大活動

く付の長老派も

これぞ神國日本の姿

いちらしい千人鮨の幼ない兄弟、

人針兄弟へ

十四名の大震増振りを示し然に目立つのは朝鮮人五眞九千八百四十九名、朝鮮人五萬一千四百

れ「値少ですが少年一家の御見舞 窓も世の同情を果めて本紙に記事 入つたが一日朝またも義人の情で が出た翌日早建少年達が量みの干 (メンと用之者(デンの競れな境遇は 京城市山町三ノ一一軍本事美田君 入野は一婦人の好意で兄弟の手に 個の慰問金が本社を通じて送ら 本年三月結婚したばかり

部院南京部院步兵少尉朝子解維氏 |満州電話||北平南方の番河村の 氣丈な精米所外交員

短刀强盗。ご格鬪

頭を刺され残念にも取逃す

今曉、阿峴町

郷出身で、本年三月結婚したばか 立に伊ひ招戦され、将来を慰覚さ 務となり、東亞亞森浦州出版所設 政朝子少尉の陳家に任み怨的の常 inc)は肚類なる名譽の戦死を遂げ つると那是製絲大田 原肥製器所動 二日年前四時、天原機副説明

何かを物出中の白シャッに白ッポ 窓の戸を開けて見ると、底の中で

一尺五寸、幅七寸位の低片で強縮 頭政な大権さんは「金なんだない

の胸部目がけて戦りつけた闘打を 見舞はれて麓いた概は弦刷の前丁

場の確主急をはづして忍び込ん問結米所の後の板塀を飛ぶた上ある、強銃が侵入した足取りほ

非常時特別器演習を四、五、六の國民精神の振起を目的としての國民精神の振起を目的として

と証据つて來て左手に持

統を財破って逃走を心てたが則以

な大権さんは逃げる戦を唸の外す

活動を開始したわけである。 野は總立ちとなり「丸となっての乗出しによって朝鮮人剛宗教 南總督あてに

即書のま

日午後二時キリスト教長を派で 京《勝河鄉拜堂に同面聯合堂館

(京城府内に在る十二ヶ所

をしませら防機機動態に援助し た、これに節じですが異様へ続つ という できない これで、さかについて、国防的教金 おつとしてい話いれなくなりました日本がりをしませら」と決議 正義の鬼様がであいまで、 田田が前の神経 できょうしょ 大阪 間きますと言:十世の際別の中で、 はずか和を確立するや。に今後 聞きますと言:十世の際別の中で、 はずか和を確立するや。に今後 聞きますと言:十世の際別の中で、

てあげて下さい」と影響金十四個 早手を挟いて傍観してみられない た、これは値だですが原軍へ織つ「北支藤島の構成をみるにつけて最

丸としたもの) 時間

ハリキリをみせてもる

を果すべきかの一點に正がれ、そのぜ夢に大から大、と現れ今やや鯱の空に明明な繁慶に異版なは内鮮(丸となりサリスト戦争で高級もすべてを組織、只赤子としての菩薩は如何に続後の任務 是よ、半時人のこの熱語を一北支の職事を破つて一度び鬼軍の正義の功が援かれるや果然年間は

殿の前に振み出らや「只今お話を 同氏非和語鳥に際「頭部三十一 たく歌歌させた。この声手は見味 位の断述の学人が立ち上り何略著。重大師かを持つても、のか、カンカチを添いて欲って継貨をい の呼吸が高海の中から二十六歳。台で記ざる歌歌として鬼袴舒高は、麓の六字と目い見を鮮血で描いた (4、二鎖と集つ) た、この年の設定がいくと終こせて、鮮那年が、二日雇品信に認定さるを参数金しませ、四十七銭を採出し、間を脱離させ、と養践养众の念に徴いたつた一男 た、この長を認がかくる際に出で「鮮樹年が、二日南部僧に磐遊径るた、この長を認がかくる際に出て「鮮樹年が、二日南部僧に磐遊径る ■発揮の窓動書に、 天皇龍下西

てた義勇圏に参加しようとしてた義勇圏に参加しようとしてい、自分は先に文明均翁の を思ふと最早ぢつとしてると取ひを願けてみる県策のえない、この支那軍を轉怒



ョ で追びかけ店から五間位のところ り級は振り返りさまな万で大幅さ

んの顔を突き刺しひとなりに逃走

和茂山墨三社由延行司或此一林 心 「古州市語」明川郡四河町南「生 も」て基物室に ボビ 妻子を慘殺

天氣豫報

秋岡商會 **断着京城 二二五大香** 能話本局四三九〇香

+

生石の林保護部が林王単福三原語 在町に割け午後六 医痛く、おまけに水魚は、多原 *日二十八月十後の時上に 成らに構本物事が収益しま 一、人心費し延加強で

11一克併於吳一丁。 一一中四百歲位之 鐵束,晚已万早日

櫻

住所不過於時間

の風を有同

優勢な風风第二陣

今のところ進路は不明だが

二日、四日はご用心!

ねたの無理に同様中風波消え間に たったがりが設訴、財私将が御 たこの概であった。

配に人々は騙いである。

安奉線不通

仁川の潮暗

お子さんの

二日目勝

野公々 セラの特別に特的店

化香

粧品 材 網 開

學 料 東華洋行

二日朝の天気槪況

ころ石垣のの東方「日キロの海上」ないと意識原識が駆げられた、以即が急に移動を始め二日午旬六時 |見せぬとも限らぬから迪師は出来

とにかく支那兵の如き打甕振りを

威の手を殴めて来たがそれでも例。時ごろ復襲の見込みであ

通となり、列車は劉家河上り折返 頭のため一日午後五時ごろか また安春解林家古、通道仲間り最

京義線の水秤

に上づてゐるが躯能ででが明せる。 馬螺にそれケースト・プレカ各連川総震して騰烈の破壊も相當、六時十分職等山圧了のぞひと変寒の顧順のためご日早朝に至り、 天信報五期根は曹治郡にが取 京流線を州以北の沿線地方は一日一際に、定州年前四時二十

動であり進路を北西に取り

八的な暑さ

えな時は、あれて子に、十代

新胃腸藥

し軍職能者及び耐氧代理関本内務無長、厳産変態格闘技師ら定し、二日午前十一時から第二十局勝司令部に中島氏が出頭 立も含むで中島氏の『ジュンブー』 競馬クラブの『マンモン』

「マップラシ」の飲み我が行はれた(恩賞は飲み我)

後、陸軍大臣宛に許可を申問中であつたがこのほど 及び朝鮮競馬民衆部から軍馬献納頼ひは厳立た倫質を受けた

採用と決

の流わはやまず五尺の身蓋の散き やりきれませんね、その上階減を とったら属り跳、それでもまだ汗に充繭してゐる「この暑さは至く

けてムーンとする暑水が省から街二十度七であるがこの頃の繁温は トは限り返了臨光にトロノーに溶 一番暑いのは八月下旬の平均竊温

連日記録破りだ、珠に七月二十五

附近は茂水基しく危触状態と一日午前七時半ごろ石下韓信號

った、これがため観賞局では上り の豪雨で堂に没水し列市不通とな

「のぞみ」を平場群より物理す

とになり一日午町十時十五分種

||百米の渠堤が流失、同四|
||日午前四時ごろ南市、平窓館

構内は二日午町七時半ごろ町日来 京張鄉杜優、白馬間線路一戶馬

石下間の白馬トンネル及び石下

日の京仁地方の三十四度九は七月

その筈。十九年振り

五時四十五分ごろ祭場成失した日発的

利七十米の土砂が流失したが同二日午期三時廿五分良策解引五

炎天に酒教を放り出して置くとま て給来が悪いですよ。天気間と首 三以来のもので質に十九年来の種 ところがない、ささに対熱地鉄た、帯びてあまうから身張がべたつい、中の最高学温大正七年の三十六度

暑だ、おかけで氷屋は超速成の大

京森線水根のため安東午前三時三

各列車立徃生

登山に向つたが、中

軍馬献納式

「日川電話」皆つ、器つ、上次を脱











忠北蠶種界の恩人

甘申聞司令部に『軍馬に人参を武 周湘縣山里武木仁平氏は一日帝 軍馬に人参を

北支がへりの 熊谷少佐講演

フター・描寫音楽・アンバム

100 (

申込は八月五日限り

洋漿入門の第一課として

五日限り一課として日い本集ノいたで申込設ででいく

到く即刻側中込下さいく未曾有の好評にて申込殺となたにも面白い本集と

會費 金冶圆 三回分類佛

最寄り特が店には歴史明度より

今夜鐵道會館

で時局に関する認識語を開出、 軽の来館を敷理してゐるが入場

明治中学の川里公会で 急行!! 今頭で脚申込ま











区域の委別、各級階の事務機當を

□ 1日 対下非常の時局に西面 □ 1日 対下非常の時局に西面 し左記感謝の跡を打造した

株式門社でも愛国の地球上みがた

义府外 新岩洞大協金用丁葉

お託した

雷公原み台に落ちて

納凉者六名慘死

更に除草の農夫五名重傷

全北金堤郡下の椿事

さんに」と卅一日遊兵隊へ破り国」ップを切った。大明府鎮衛唯一同 優つて五十八銭を「大好きな兵隊」して五千個を登記して日歌金のトを作ってはこれを眺の歌波清遠に 一日際北道職を訪問し国防駅金と

が単級に戦闘して使日自家で小院(金台町氏は愛園の至夢に数へて州の教校に通つてある遊び盛りである)た頭に難山王として知られてある

除に通したが、同工場慶流前に消防組の努力 激程、風情な人と燃え場がりタンクも一時位

過失から引火したらしく、環席その他につい一般ない節種は静趣神能換への際に於るハンダ附けの一般ない神趣神能 搭都により作業中の四名は血糖樹を受けた、石石坪を殆どを読して同四時半畝大した。右

原理が世界所では換作業中原産曲に引火 用 日午後一時世の分明館石油工品

(折轄の風而き機便とにより、同誌換所一棟

金秀は翻町荷本舎子(こころは小)その第一回分十回七十銭を寄祀し

【大郎】献金に吹く二つの実改… | 分の一を観出献金を申合せ卅一日|

愛国の納意を見揚し結果促擇連

高射砲獻納

義州邑民申合せて

よく基金募集

んで力を銃伐の任に致し強々星

以として二古国を郡守を通じて献

年前十世から公開堂では清確はした |延吉||朝鮮人民館では去らせ入

に對しては開致一同で激動電を聴 鈴木部隊長知湖沿を配し久保少園 の名をもつて第一線の北支景道軍

武運長久祈願

一祠で執行國防疫會員、郷山愛婦諸・宇宙の国敵官場皇軍武団長久祈願

時間国は中土国的設置開発職者、現役生徒人登録民家政

【大邱】郵便局では卅一日間局長 鈴木部隊を激勵

察都の護り固し

一千五百の防護戦士勢捗ひ

関兵分列の大豫行

防機関第一分階では一日午前六

防御監陣の標本とはかり經費し終って堂々に始えて一糸品れざる行動に一般観釈は国 市内を行動して開城尊武に参拝した(夏寅

民會の激勵 延吉朝鮮人 一天州市西班金四十五 一日四次

思ひ感激に堪へず武

重似の憧事があつた、急層により都無里駐在財政及び公園器氏以下六名即死し荒いてかけ込んだ豫章中の歴天五名は ぎ折消を配み中の配み盛に落霊・病説中の部落氏監長田内の紙部の間の四月城里の田岡中の一概察でも同日午後四時十

時半年成業即内一個を纏った豪電雨のため指摘放安中の段等を北部回機が重決導端所有の牝牛(保管百三十圓位)は 電影北部回機が重決導端所有の牝牛(保管百三十圓位)は

牛公も黑焦げ「展第三十星世

の出職機能を行い直傷者を収容したが現場は黒焦けの無疑

つ一日までに六千條圓に難したの を賦納することを申し合せたとこ

北文の情勢は益々線部を係め築 駅を許さする昨五年が長の保育場、東 市ると共に役員の保険官場、東 市の保護の手を全面的に支持 すると共に役員の保険官場、東 大の職権の賃俸付近日の根本 有等秩に運動でした人事を受し 大の場合とした。

交いて大和町の製家に落踏したり、大正町の製色は電話

ではいい。 「自動)のはこれである。 「自動」のは、これでは、 「自動」のは、これでは、 「自動」のは、これでは、 「自動」のは、 「自動」のは、 「自動」のは、 「自動」のは、 にのが、 「自動」のは、 にのが、 「自動」のは、 にのが、 に

話し中壁造して事から火を避した等の情事を意思したが 全州」三十日夕創金州附近を襲つた暴雨は物後い雷鳴さ

近く献返することになった、

十億名は二十八日午後三時内の職一種、植田、西月三軍司令官に感送

【新売州】転用値の主なるに民二 | 顔を開き左の諏都市を南豊信・

付金四千間を穿掘することとした 定め事業基金として三千圓支部納 時から那艘凝鉛に那内十二艘粒の

支部水脈分離結成式は一日午町九一を盛さんことを窓び川堤部隊に對けた。

【水原】朝韓軍高後援戦四京後道|を期し全郡内協心一盟銃後の大田

第一線に感謝を表明し

銃後の大任を誓ふ

に對し時局散験軍事物度概念の内、職盟の役職政等を決定し道

族に對する扶助、贈召軍人職にそ強化を嗣り俳短軍人職に軍人の家 野行し脳盟の組織所は言、脳盟

水原にも分會結成 會、都土完婦人會の各代表者 各階階の有志な道調団搬沿に集合各階階の有志な道調団搬沿に集合 **後事態戦人し長期に重るやらなこ | 製ひを終たしめるとになつたが駅| 教をい野雛衆議を生んであるが今 | 一級に活躍する県祖をして後頃の敷をい野雛衆諸を生んであるが今 | 一級に活躍する県祖をして後頃の 節組織のもとに秩序統献ある活動**| 確は左の通り は相談つて黄海道軍事後援帰盟を を要するので批内の各種原際語で がある場合は銃後の低も交相人 盟の任言、重なる役員前に参加額

> 木部隊激勵 大邱府民鈴

の 川地部監接、鈴木部監接第二字記 駅開放職文を打造した 医療機械職文を打造した 医療性の発音を指出し転送の音を全全よすべく常府に於ては本日大

宣言 刻下非常の時局に直面 宣言 刻下非常の時局に直面 の志気を破棄場作し後観の豪 なの志気を協力と解放機能は 多屋 の志気を放棄していた。 対していた。 亦議員日本赤十字社支部、軍人 投佐《木忠石做門、同萬代祖助 投佐《木忠石做門、同萬代祖助 【大耶】府では続後の渡りを聞め

鑛山王は五千圓投げ出し

女生徒は小旗賣つて献金

否がは別として難物に缺陷がある。

相生館は他の建氷面と共に敗梁

ンダ附けの過失から引火

作業中の四名負傷

め軍事後級帰盟門を結成し同一 全員事變終結まで 毎月献金を續く 金々御新聞売車の販武を設場せ

> 努力で飢憊し大倉町一丁目前肝治 たが臨退の警討その他保険必死の

なタッ子さんが領地に行動した

富裕に於ては各機關を大同團結しても左起打散した。 歌に選往せられんことをお成し雲のて銃波し雲のて銃波の宮根図是の質を果さん

銃後の陣强化で

後顧の憂ひ絕つ

黄海道にも後援聯盟結成

熱誠に拍車の活動

林長二郎の實演で とんだ餘興の栫事

武運を祈り 皇軍を激励

【大邱】爱姆大郎会館、图解大邱

多部の合同が別景は一日午前十時

午有志五十餘名演武場に終まり是 軍以門曾を組織し創長に李京根氏

人院中の傷病民を心から財間しそ 皇軍に慰問袋(計)

【竹川】朝鮮人側では三十一日正 慰問班活動 价川の勇士

美形知事た人及び同新義州分割長 村上府尹夫人をはじめ段部教名は

副館長に藤元館氏、食品が集書館、近を贈ることして日下着を範囲中に林殿道氏以下十四名を選任した。

天井が墜落

する我將兵の辛苦を構ふべく慰問 要が分割では炭熱の北支線に勇器

|は春二月下旬寺法によって選出さ れた現住時林在修飾をめぐつて一 名和陜川郡海田寺の法が和田問題 **斥運動を惹起しその間可直の活動** 山の情間が上でに分れて強烈な影 和事にあて林在修師住作機業の申 か去月下旬本析學務局より慶南道 たり全く連携だる有様であった

科した住作問題はこゝに一段音を | 時間毎は所足の献金は高潮に達し

機関の観客は総立ちの騒ぎを演じ、資却せんとしたので率はこれを誇っるだけ各方面から成行きを注目さ し生間な目給を側壁して十四国ニ

【新義州】愛國婦人會平北支部長

問班を武造する響である

傷病兵慰問

二十一日新義州陸軍撮院を訪問、

三人組老婆

が教明二十能名の財助班に財助品(据として時間四十五頭はの高限な) 老人の 彩化。「金州」 一後既公園同年で権威したが取扱の形態は野田の通過の部度地 大田器戦に援知され学は大日玉を、日子後五時項所外に緩和に推定大 にく線のよの夕成みが精禁しそ戦の底したが明出の通過の部度地 大田器戦に援知され学は大日玉を、日子後五時項所外に緩和に推定大 にく線のよの夕成みが積ぎして戦の底したが明立一体名の財助班に財助品(据として時間の一五世) とった、金根にほし最前交番から のは霞れたものらし、はないでは、1941年 1845・1945 開思な紛糾をついけてゐる殿南の 法城のお家騒動 受難の住持の襲任不許可

排斥派凱歌を奏す

(釜山) 神器な法域の勢力形ひで)れてゐる

祈禱師お繩

里の各階番風を烘し、一回五十銭 怪しい老婆の三人組が帰頭面数度

【氷川】柳山銀内の各地を徘徊し、内の被害師は自由以上に選手だがら百凶輪輪を判断するといる。 込らしい 日下取満へを受けてゐるが柳山郡 この屋根山墨頂の手でご用となり乃至一国づいを捲き上げてみたが

釜山府民の熱誠 人夫の感激や大口献金

▲百五十圓辨天町エマヤ卓服店市中喜一郎▲十川本梁長野希園市職工一門▲百四土城町大棚館市職工一門▲百四土城町大棚館店町・本・中華・大田の東京町・大田の東 □間 ◆百個間遊坂本公三郎 ◆三 □間様大町松前温間店(北文牌 兵蔵側) ◆三百個町町名砂油町 員一同 ◆廿五四土城町首中宮一 郎 ◆百個本町山田駅上郎(將兵 家庭後提官) 五十五四省水嶋宮 ましい愛喜むの迷惑を示した

半壌の献金

原兵隊に殺判してゐるが、七月八 影響は事然としてはきり医療の最 平圏の単に對する平南近民の る所限の愛國心の結晶は二十二十 並前に国的献金は毎日平畿 八千山を突破

金高縣▲江興祝館石

のため何かに役在たせて下さ、「町松芹本徳のため何かに役在たせて下さ、「町松芹本徳」 「別域回対のためのでなり」 「別域回対のに役在たせて下さ、「町松芹本徳」 町松井本億次郎▲五十開開城即臺一十圓大和町惣島朝代 ▲二十厘大至|| 開城 (廿九月に献並)▲二

观古 (您只够投献也)五十

存で試立、客屋以下を思識をしめ

雑草とつて献金

意味の手紙に添い十個を小路

沙里院 (三十一日郷水) の李任股會投以下四十三名は決難が北内面五令里提可表別

夏には真平と言はれたものです、然し微量で足 多くは既に食慾が減り、消化不良を起してをり 多くは既に食慾が減り、消化不良を起してをり ハリバならまるとに安全そのものです。

氣を催しさうな臭味は服用者にムラーへと反感を愉快に用める。 夏になると肝油のあの吐き リバはとの時季にも愉快に連用が出来ます。 2は抵抗力の最も衰へ勝ちな夏にあるのでへて、臭へたものです。 しかし肝油が最も必要 力が均等 往時の肝油は、ヴィタミン

われば二十瓦でも米だ足りないものもあり正確 いで正確且つ均等に含量を測定してあります 動物試験、比色試験員つ最も科學的な分光寫 量を含めることは不可能でしたが、ハリバ 量が履々であるため一日五瓦でよいものも

のは保健上観に遊ば立しい現態を申さればなりません。異だけは………と一物肝油ハリドに優へて概けられる異だけは……からたわけでこれまで御郷を見ひられた。々か以上のやうなわけでこれまで御郷を見ひられた。々か

樂もで長

抵抗力の弱りがちな 夏こそ
肝油を 最も必要とする時季

「肝油は冬のもの」夏には服用を休まねば

ることは『苦痛そのもの』ですが、新らし した。往時のあの生臭い油を夏に服み積け るからです。抵抗力の弱りがちな夏こそ肝 なられとの考へを一 い一粒肝油ハリバは夏冬なしに樂々と服め 鍵すべき時代になりま

有して居る高級な肝油を原料としてありますか、数百倍も濃厚にヴィタミンAとDとを天然に含し、用量が少い、一味肝油に比べて幾十倍から 油を必要とする時季ではないでせうか。 ら一回の用量も何十分の一の少量で足ります。

としたもので胃の中で容易に溶け吸收されますとしたもので胃の中で容易に溶け吸收されます。 小 粒 との肝油を消化の癌な粒

た含有します。 がイタミン AD 所油に相當する 大小 見 码十五圆二 粒 百 码十五圆十一粒百五

A STATE OF THE PARTY OF THE PAR Willy

質質の暑の鍵章をとりこれで得た 「連昌」阿斯姆人會會與一同片出 一位大僧郡柳川並原山里支川根與一同和子▲五順菜町涂相彩▲二順五明防鹽屬▲五面大興町庄田健突郎 3.自院無確当社会サイダー四打を

写真的士の武道長久所顧察を頼月二十七日配島上級の小諸所、五年、明芳の祖人帝へ四郎士・魏昭の七十世がら群山神社で北支に活動す。月二十七日配島上級の小諸所、五年、明芳の祖人帝へ四郎士・魏昭の初七十世 の防難會では一日午前一家館の七十世を風吟献金としては、劉正四大遠郎提詢面長詢里元詢共和田・一

少年弱死(卷巴斯

女給さんの熟誠

南原 高郷 (分資格) 「東京 (大田) 東京 (大田)

【興度】四内本町カフエートかへ

「開城」研修館では一日午後三時元町州通 単校大郎に二千五百名の勝戦を召集し略兵 単位大郎に二千五百名の勝戦を召集し略兵

既存遂に建し「殿何ものぞ」の前をい称軍(はその分別行戦)

りの女給さん新田屋子さんご。は一内谷町二丁目安永瀬三男安郷五二

は国家の干球としてお投に立て、野野物の書の物味者となったなってしまか、実験者の答案に、観七時気が成となって配着し合したがニーーの年の五月に亡く、野田で敷水中行方不明となり卅日私にはたつた一人の恵がもりま 高脚で敷水中行方不明となり卅日 州一日興奮者は

東京・大阪田

邊商

HV 375

のは空氣中の解案と警案を分離

でるるアルゴン人的の電球使用

育る事がり今日 一般に用い

を描くに至った、そこで順

制る)此の少量を以て現も角も實ますから、殿も自分の使用目的に

持つで飛行政に乗つても、地上は

では、一般のでは、

三角、依何、

はふらのいて、無理です

など風を引いたり扁桃線を

の間にわえ坂本さん

一所内で自世典に新す虚っ

(1) 3 漢與的(光成) (2) 第一百人) 米 1 异定聚(语) (3) 第一百人) 米 1 异定聚(语)

上度位のものもかります、原野は が適します後野に就ては小孩

江敷、てやいう、金魚は、

ものガイをして思るか

であしろ倍率個く濃野の置いもの

らに舞戦を見にくいるのでするに、大権の使用目的に対する変態館の

やうにいろいろの壁が出来て困り

歴であるかは、欧洲に於ける年── 双眼瞳は各種の使用自動に適する

他の方法は前述の

する事は困難であつたのであるが

は判底化の着型の質現を一般化 能能物として得られてみた。故国

海、山瓜などのハイキングに便利。適したものを別っことが次回です。唯チラノ〜無動する以外の風物で、 豊馬、野外要技用

これだけは心得ないとだめです

なつた路である。アルゴント

高まれて風ないアルゴンを採取す

主義の完成に外ならない、数と

- 日我國に於て勢通に行はれて民

金またも十秒七

培材、養正高普リ

間の使用まで考べた場合は五千

八倍が資通で

に苦心を勝つて居ります

になって居ります、これが失きい

吉村優監督で直に関作すること

事局映画として『電死報告鑑』

水兵の母製作

全鮮中等對抗陸上競技(第一日)

色にすることであるが、之れだけ

つちへられたのは電脳の内部を貫

ける含質量が一直萬分の一とごう

使少の組合に過ぎない場め、能来

効果の増加を置いうと考べるのは

式なもの程電力を織の形に於て消

理想的である。

能つてとれをアル

トン入りの新武電、開解力に於て市力の節約略を三〇

アルゴンガス人指球に比し間一の

双眼鏡に必要な知識

祖二れだけは是非心情あく

大概の版本武は金魚

売り合って二つの個! 伸眼を開き室右の側

有して思るので電域互新としては、選求の操になつてから

知る所である。

黙の形に雙へられる事は世人のよ

電球に供給せらるゝ電力が光と「総質に不清性であるのと,就態等」 腕を行つた結果は顧る有象で、電「を歐洲の市場に費用した結果は興」

性が殆ど皆無であるという特性を「球型産業者はクリプトンの観光が」る良好であった。国も類式原理は「

熱くない電球が發明さる

クリプトン瓦斯入球の登塲

機能飛行の完成等最近のソヴィ

世界一の商用

石理大局中・で異赤に共列影狀形 會服理・ し示を面一の指二第の塔 …紙上博物館…

ン、及び交通の便なき僻陬の地か たと云はれる。本年度の記載によ ではいづれも世界の第一位を占め 形て米國に**認つ**たのみで其他の監 かても意思的認識を示し、昨年の 自業航空統計は僅かに旅客管送に れば奥に一層の徹底が豫定され巡 世界に腕つてゐるが、蘇蘇政府 用されることしなった

|探検の成功に難いて北極圏無||窓大な数字を帯げてある一方面差 新足がは次々に輝かしい記載 | 在がれ、十人乗り **航空を誇る蘇聯** 一个時のラギオ 客機も既に完成され定期航空に使 號、十二人乘り双龍五一台 用飛行機の敗良・製作にも発力が XXX ANT EX 避し得たものがある。其れは帰國 の液化を業とするもので此の問題 駅の電球製造製者の需要に聴する は巴里近郊の同語工場に於て全世 に手を染め、

途に解決の域にまで **火けのクリプトン生産量を得るに** 然るに最近に至り、空気

重を大々的に開始し書るに至った。 屋理しなければならない) 特殊機 必要な多量の容素を處理し得る 百萬立方米といっ大量の名詞を 規は意多の新式ク

> 伊原畫伯個展 三越で開かる

「現の活躍に成功し、試験的に必れ「別に難する計りでなく、ソイラメ」製造版ごられてある電球に代づて だても、最に述べたタリプトンの を構たすに足る生産能力を育する リプトン人り電源製造業者の需要

様に歩くては、此の肥遠を満足せ、放て、クリプトンの産量が現在の 一萬立方米と評価せられ替る今日に しての全世界の需要が五干乃至一 ひいてゐる、勿論此の職の用途と だからである、現に円里の一流の

に至ることは駆びなく、痛くして れるのも近くはあるまい 生産された瓦斯が我國を輸入せら クリプトン人りのものを聖遣する一な紙出式が便利でせる 古聞なら著名、城縣立ら春城、高 へばいくだらう

なは、双眼壁のマークの所に

すが、前者は六倍の双腿値で、 2+とか8×25と書いてあり

授、都市區、新文展觀香館伊原宇 夏季洋温濃潤爾藤師として来鮮し 部離的は朝鮮美食観覧録と低の きとを示して振ります

家が登退人となって一日から五日

火に左眼を聞ぢ、台眼が

さうも思いのである。

粉へるのである。 「何というのかな」 困った

ないのである。 聞いて見たら、なる器、これは 別がそんなにわからないのか

わからない。

それだのに、どうしてもわか

力のある細い泡沫立ちが豐で

殊に緩和な

作用は肌を荒さず

温雅など

方香で用ひ心地は爽快

に入欲といる。 大阪へ下ることを

果良い行くことを上京といふ。

る解がさ秀優、ぐ直、てべ比。ひ用、

らか肌強・もさし美の粧化・論物はさし美の顔素・

店 商 昼 見 丸 〇 國爾#京東 舖本

京城の東京大相撲……上立、……温脈の上版人の、双葉山上





に完潔中にはブルゴンより更に痛の寒の咽急等中等象皮質原発上競技(日教行される、第一日の意識では、「悪魔」・「生傷(足職)を工業の環境にあわけたし、「鬼き」 脚筋の統計で優勝校を決定するこ 日午削し時から京城運 年年から十八歳以上、筆ひ仁語四二でこれに蹴いてある。米四〇2歳田(光中)3隻職員 (養 ◇一部砲丸 1馬鎖貝(骨)一二次勝記録は次の通り 増材と低正が四九點づくで首似を

郭炯銓 1美宗書(徽文)三 12 磨胸佑(遊替) 3 安

唯一〇〇米ー変容帯(密替)

左右の最近に際に変のない方は、

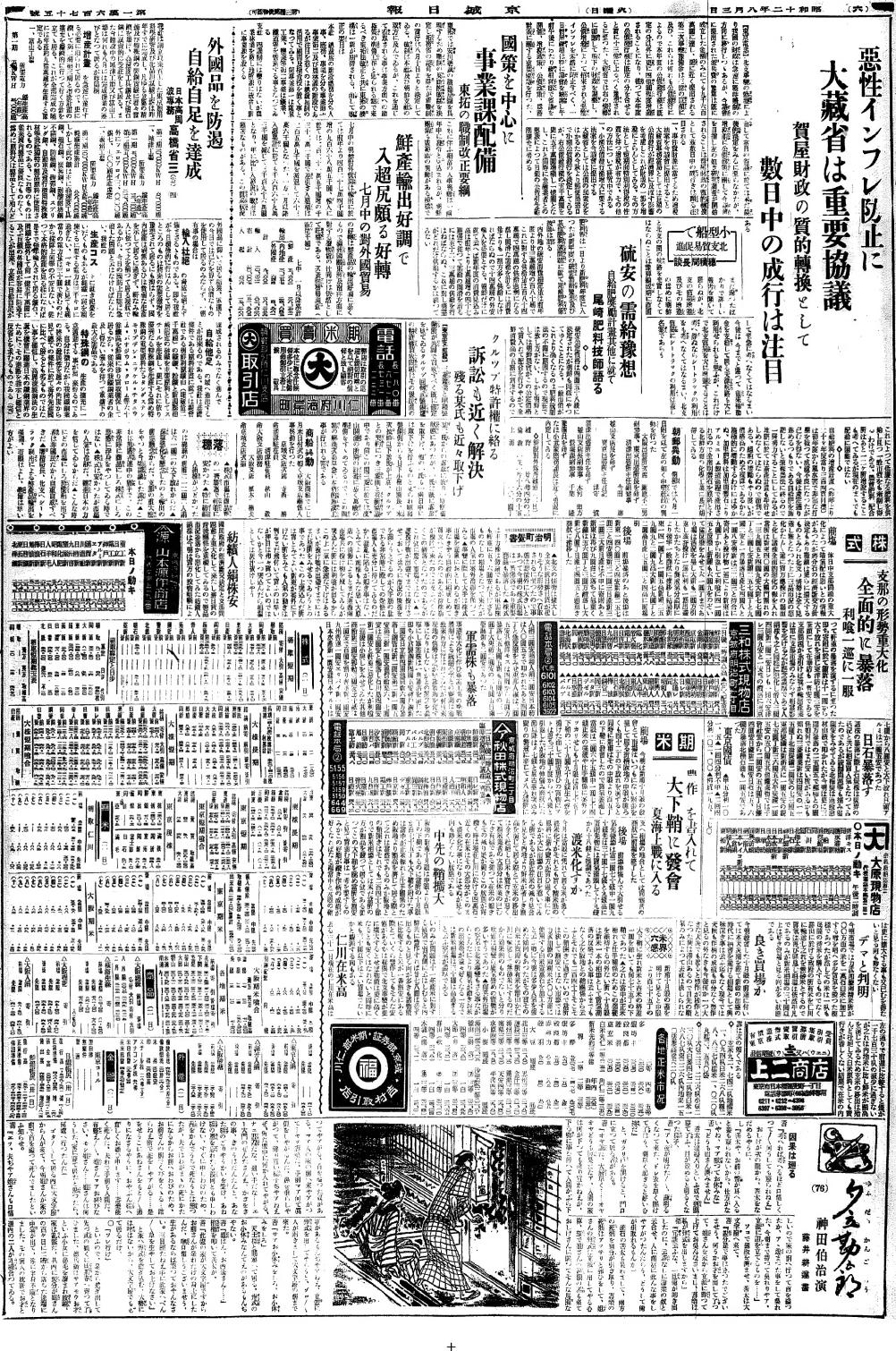
一頭の即職出来ならのをお状めにな

監督により製作することになった 『水兵の母』を斯人蔵の水島映次第

干蔵町二の十三、東京米の一方(七月駿)二十銭、東

崩れないで最も徳用 や赤兒の肌に適ひ 合用品として重寶無類





長中松半 岡保本澤 克與忠玉 高田市太郎 大島 正德 化太郎 作太郎

體力増進ニヶ修

▼ マ野郷一様く配けても無害の終公衆養親ミック配動ドロップス マ 513年 文は 613年 (ビタミンび) の縁起こうり配動ドロッツスです。 マ歌郷一性し寒寒神器を慢ばぬ途郷は強つて寒寒するのみです

B 英 譜・ 法特



その一顆の ビタミン含量は

く良か收吸化消 ぬら障に腸胃 劑養榮化乳全完

ミツワ肝油ドロップス・

美味しくて服みよい

榮 腦 茭

優れて居る理由が合點されるのであ

お體の抵抗力を増し

も最も多く折用されて届ります。 て居るので、感胃・結模等の歌跡に大に るのと、谷繁が素の綜合によつて、抵抗 にミツサ肝油ドロツブスは、ビタミンAT 抵抗力の强化 打張され、小學校等で ・Dの含量が正確であ しの情報が 地大し がなる情報が かまたし

に優れて苦ら野から、から、単なる肝油やビタミン部に較べて、か、単なる肝油やビタミン部に較べて、 の築養素を専理的に配劑してあるミッワ肝油ドロツブス油)と、酵母ビタミンB・燐・カルシウム・鐵・キナ等 のある事が解ります。從て、ピタミ 能で、ビタミンA・D(特許肝能で、ビタミンA・D(特許肝と同様に薬養の片寄りを起す膜がの単純な繁養がては、偏食がして含まれて居るのを見ても 均して含まれ 成分の単純な シンと栄養素とが平大振り声寄らぬ注意 綜合効果の遙か

事がと、栄養と、片寄らぬ家庭報音に依つてこそ、将来の方がおろそかになる傾きのある事は危険干虧です。 歩張と方がおろそかになる傾きのある事は危険干虧です。 歩騰のの健康養達が大切であることが帰ります。 之は家庭教育での健康養達が大切であることが帰ります。 之は家庭教育で **李福が驚らされるのであります。**

の健康登達が大切であることが解ります

±

鉂

五十颗人一级 百十颗人一级 百十颗人一级 11四二十级 21四五十级 21四五十级 21四五十级 21四五十级 大人は用 定 價 Z.

ーニーエ (表代) 花浪話電・番○一七京東西振 國頭・東翼 部品藥・店商屋見丸 舗本絵石ワツミの

事變の徹底的解決。

政府の最强硬方針決す

原京文社特電各方面活氣溢る

就き詳細を極めて奏上、最悪の事態に處すると、近て首相は北支職局を初め内外各般の情勢に変にいるに至った、去る卅日御召により奏内した。を随むるに至った、去る卅日御召により奏内した。をといるの無線、無成省に発きの際際に陥れ途石の歌析も変に慰復の決める場合である。 大田 東洋平和のため事他を使めて奏上、最悪の事態に處するとなる。

本政府の措置を手は、これによりを開催を集め重大央意を指げた、これによりを講することとなり、活流を加く事變突發以を講することとなり、活流を加く事變突發以を請することとなり、活流を加く事變突發以下、これにより

も政府が事變の永穏を見越し且つ徹底的解決にお腹を禁みをす事権に臨っる環境の変形を限してなれ、より終われてあることは今回の省した、二日の閣議にて臨時者就を決したことを訴し意律永遠の手和を確立するくして原来した。めて安全「原領 にままれる米敷が今回のサス部目した、二日の閣議にのの日の最極硬方針を探るに決します。というのでは、これの徹底的解決に向ひ最極硬方針を探るに決します。というのでは、これの一般にあり、これの一般にあり、これの一般にあり、これの一般にあり、これの一般にあり、これの一般にあり、これの

雷等が開かれ院内の名割能不健位 施場だしく要人の客族も一般支那財支問題に陥する各部有志代語士 語の○優飛來で発音の支部人の財政

前的財支資源決議策を提示、 外世名が連署を以て黔部に對し全 對支強硬態見排頭し山本第二郎氏

政府激勵決議

政友質内部には心証、於て具體的抗動をとける

各派共同で提出せん

は人の代理、使用人、從業員で第五條一法人代表者又は法人若く

激励すべしとの要求があり更に

【海南二日同盟】中央軍北上日本

本合は公布の日より之を

せんする情味にあるので歌な顔で、人も選目歌へ関方気は郷里目指し

(東京軍語) 時局に最大軍語「東

曹を開き慰養の結果日支郎の顧暇 次市内は撤退を起してゐる、戴彼、ことになった劉利取結に驅する爾は二日午前九時半10駿内外通称 て引着げつよるり、これがたの献、忠生高兴智郎に對して適用される

を決心してゐることを設し、各方國とも語歌劇として「匿をはて匿むべしとの機動技術家」十年の山東の平和も差に最後的局へ取出に弦つて西丁、農林開名問

外地も順應する

的に参加する建前から内地増税に順應すべき 提出すると同時に提出の見込みである太等の各外地當局に於ても非常時襲算に積極 提出すると同時に提出の見込みである太等の各外地増税に關し打合せたが朝鮮、台灣、樺 る礁太に關しては恐らく内地将稅案を議會に務省に萩原次官を訪問、今回の臨時増稅に件 の間に研究を進め、なほ法律關係を必要とすのに参加する建前がある。 日下具體策につき大藏省と「東京電話]石坂大藏次官は二日午後五時半拓 根本方針を決定、目下具體策につき大藏省と

人衆課税を避け

通貨政策も考慮

に伴ひ多少の増散は行はれるは一程度であるが外地に於てはこれ。今回の増脱は内地に於て、一個圏

方法を考へたが一部財源を増長になった、内容左の如し方法を考へたが一部財源を増長になった、内容左の如しは月銀を通じて越る公債消化の 入なり三日公布即日旅行することは月銀を通じて越る公債消化の 方において小部公前を軽行し要、胸に敗正して暴利取締を行ふこと公説も増設されることであり一「山ブ県野産を守る会」である。

暴利取締令

では、日常田野がおからおいて大大変を新聞、 製作を表して大大変を開催の影響に関する財策として大大大変に関ける財政の関方の対応の関方の対応として大大変を表して大きなという。 第一版 最初を得る目的を以ては日常日常の後のの後、の後、最初を得る目的を以て、は日常日常の後のの後、の後、最初を得る目的を以て、

阪貿若くは阪贸せんとするものは暴利を得て左に掲ぐる物品を たすべからざる首を戒告且つ必長官は期間を定めてその行為をと認めた時は雨工大臣又は地方

【東京電話】 政府は、日の限心で 昭和十二年八月

で案を決定發

あす衆議院に提出

【東京電話】政府は二日の院内緊急閉議に於て北支事變追加豫算財源ごして增稅案を決 今次議會に提出するとになり午後四時大藏省より左の如くこれが内容を發表した

二、臨時利得稅增徵 法人個人にも一割五分

大藏省發表。。。

增稅案內容

五厘以上の地方債祉債については四分以下又を超ゆる金額一制▲四分以上の國債又は四分は國債利率年四分地方債社債利率年四分五厘 四、特殊消費稅の追加 は四分五厘以下の金額については課税セず

左の物品は從價二割を附加す に寒製品 を含む) 鼈甲製品、現金屬製品(貴金屬を用ひたるもの製品、貴金屬製品(貴金屬を用ひたるもの製品、貴金屬製品、食品機、その部分品に種板、フィル島民機、映寫機、その耐屬品、食品機、バ活 割左的物品は從價二割を附加す

増收總額は 三、配當金及公社債利子に對する 分以下の金額には課税せず▲公社債について一割▲七分以上を配當するものについても七配當については配當金中年七分を超ゆる金額 億一 一百萬圓

「東京市話」 | 四時暗紅家に基づく地吹は一便二百萬圓であつ く一ケ年施行)二、臨時利得稅增徽(約一千萬圓(同じ

に至る一ケ年施行) 八月一日より昭和十三年七月末日まで 八月一日より昭和十三年七月末日まで

じく一ケ年施行の見込)の、公社債に對する增徽二百萬圓(同三、株式配當金に對する增徽三千八百萬

十二年八月十日又は十五日より昭和十四、特別消候稅增徽。一千萬圓弱(昭和 三年三月末日まで施行の見込み)

合計 一億二百萬圓

登については全閣僚異議だく度」ずであり、今日の閣議でこの増 して協質を願ふはずである。

> 東京巡話」政府は二日千後一時一相より 全閣僚承認(醫)

(1)

理想的 經營方針

五年、常に保険 報酬を念願とし

創業以來三十

近衛育相以下全職解析際、智門変の源については一部対象によりた五十分より窓内に配解解離、開闢が計上しなければならぬ、その財化を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現 配置終る

り、梶桝助軍一ケ師は濟南より;州に進定以南の河北省境平漢線沿線に配置を終 孫連仲軍三ケ師、三十七師、敗殘兵は正上せる萬稲鸌軍四ケ師、商震軍二ケ師、 【上海二日同盟」確實なる情報によれば北 復榘軍の一部 は山東省 境に一大 配置さ れ、胡宗南軍は着々全面的配備を行ひつ 東省境に至る線の配備についた、更に韓

(2) 堅實な

*

資産内容

實は多年定評の

資産内容の充

ある所で、所有

ります。

徹した理想的経営に精進してお

御加入者本位、堅實主義に

て、

わが警察決死隊 週州へ 急行す 歸還次第眞相判明

らば農林省として助途の方法を課

方針である

低金利の折柄前期五分九厘四毛

ごいふ驚異的收益率を擧げてお

ります。

(决算概要贈呈)

ち、更に巧妙な査産運用により對し二割に近い巨額の餘裕を保 有價證券の評價の如きも時價に

湍州拓殖公社

日滿協定成立

撕れてゐたが二日午 町十一時半日 るであらう | クに飛ゼ通州に急行させたのでこ | 【上海二日間盟】二日急遽飛行機 れが帰還次節眞相が物明するに並一で層景を出蔵層山に向つた蔣介石一定

廿七日の開発者 歩兵少尉に の かれる は ない如し

鈴木部隊戰死者

例閩西派の総帥白泉繭と爾見のた。時中央軍が一ヶ列車で同上北上し

◆廿八日の職免者 歩矢大財商井 め飛行機で鷹山に向つて出蔵した た3 後継章雄、西谷茂三 《『唐子』 《『唐子』 《『唐子』 《『唐子』 『『唐子』 『『唐子』 『『『唐子』 『『『唐子』 『『『

兵令村炎雄▲同」等兵永木古居兵令村炎雄▲同」等兵永木古居

手記し、白泉福等と極め種に渋合 い中央破損を協の最後的折衝を行 ためといはれてゐるが同地に於て は老面薄山訓練學校卒業式列階の を認改した公前要項は次の如き 足成立兩國政府から天々協定内容問に副刑叛雄公配設立に関する協 【東京小品】二日、日福州臨政所

(3) 豊

富な

配當準億

配當準備金一千

前期、契約者

一百七十四萬圓

二倍余に及びその豊富、强力な

保證力は當社の最も誇りとする

(契約高千圓に付三十三圓の割)

に達し同年度中支拂配當金の十

所です。

(决算概要贈呈)

胡宗南軍濟南通過

男、三新要電、先田三方面(「上海」目回盟、所介石は三日早、電歌を通過北上した20余階や町等等が加速大金同位英佐駅中大全面と、「神か石」「編山へ」「三十二」と別様に子鞭子を入り渡げの北京の一大の上に続いて昨夜間を開発力を出ります。 金典教を1911年年 では、「中央では、1911年年 では、「中央では、1911年年 では、「中央教育」1911年年 [高層] 日同盟 八十五咖啡銀甲 補償するものとす

日補限経政府にたて夫を氏

倒有利な

*

保險種類

保險として多額

は貯蓄をかねた

特別養老保險

憲兵學校新設

所を厳して新に紹兵學校を新設すの機元を励るため従來の微兵練習 ることになり二日的官報を以つて 東京電話 陸軍では軍警察官

けふ取締令改正實施

陸軍巡兵學校令を公布した

◇郷民朝氏(光州教務監督副經理 窓長)新住接後のため二日本社 来祈

い熱心に見ながら時々ニコー 行くといむ出して砂 ら突然大用撲見物に

やまず、殆どズブ猫れだ▲鴉督 離の如く落ちて來る▲懸備の 河のやらに流れる下で全身器ともからやく傘はさしたものと 逆中盛いて雨寒を持ち出する 立むは、初めはパラノーとやつ に熱心な観問握り▲他の連中も こるたが開もなく流然たる感雨

の確定割増金の定めある上、創

物です。 設以來裕々四分五厘の高率配當 5優秀な を續行し低金利時代絕好の投資 * 置) 複利割引の (新貯金額本館呈) 年五分(最低保

四分 (最低保證) 複利付の保險金 分割拂・掛金が中絶しても一定 保險約款 保險料前拂·年

低利な保険料簡易貸付等凡ゆる期間効力が續く延長保險・簡便 進步的條項を完備してゐます。 (約款說明書贈呈)

⑥完璧の 奉仕施設 者各位の御便益 旨に鑑み御加入 共存共榮の本

康の増進に寄與しております。 院、無料診療所を設けて國民健 の御相談に應じ、更らに大同病 のため親善課を設けて日常百般 (奉仕案內贈呈)

店支城京

し が り は ら a b c c

膓

国

地面外,但了一种治阴的疾症 是 誠 田 島 歌八四三年周本語館 番八〇三 城京哲學

高元 何本府等中 所強は 番 九 大 九 一 語電 き OA 一 対 京 替 報

12_{%j}.

行 機 枝 部

丸

病

院

電話光化門のごかな

ポンプの暴なら何んでも 直ぐ間に あふ 店

京城 間 崎町 6

(展和常) 革岳允由1132

秋友商

頭く構にナイフやフォークおや味 《と果物に加工"食しまでが、果物・一然に最近 ーでもないが、色 水つばかつたり取りたとりも けて郷兵の汗にピッショリねれた ころに、その味はいのよさが 丰敷をかけないで度す 婦人僧にOO壁に強い後継所を設っ自聴がうすく養婦を縫つた程度で内、無難人で組織された関係機関。て煮立てた中へ出手をおり入れ、 りやつて来て下さい』と影響、そ間に無難して『興興のためしつか 教物がひしよ器になるのも様にす を受けたのは初めてだ。とな人的一次概率仕をしてゐる『こんな奉仕 のなかには三人の妓生まで変って シャクやサルマタと産かいの取得 洗濯サービ 開城の國防婦人會 白味がうすく資味を読つた程度で「一の女無線技能ハンプトン娘で、 力子ですくひ取り、市場にのせ水 復次は、この近代的なロミオの無

ースプリテンの間じくアマチュア

米ところがこれに引掛ったのが!

行戦を作つて、約~ないロマー

を見いなら、変異様の花塚味-

の中出を受け入れ、それ以来職も

果物の

頂き方

"E"

るべく取混ぜて お客さまにはな

な事です

一にも表しくているも メメキシコのコリンナに居って

チュアーの無線技師クラーレ

知らなかつ

すやうな芸台とか、盛谷七にしま | 又最も近代的な髪のローマンスを

おは誰に大切 郷的介しませら

つて好みが進いますし、持てあま むしろ色々品を取りまぜて出すに をむいたり切つたりして出す上り

一といふのは人によ

電波で花 嫁さがし

(話)

のまし食する壁いしものはない って、豊かに熟れたものなど、そ

電話本②五三三一番 わたが、語は急端に通販し、ストパーマネント 彼による艦のさ、ヤさが交られて急取新 エツチ美谷院 知らない関係人の間にし該側、電

け、別ないセリシカけます たトマトケチヤープをどろりとか せ、玉子を上に置き、熊茸の入つ 肌にトレストしのせ、ハムをの 手 主 帖 婦

「胡瓜はしほしほの先が尖

この意味は大低道に近め方大概語味がつよいものです でも。先の方半分は苦くな に強く、どんなに苦い胡瓜

頂けるものです。この苦 きうりの苦味

によらない壁のさくやさを交して 間、今で信甘い新りの家庭で直波 ン精隆ひにハンプトン娘の家を訪

つて手でふれて見ると願い

やうなのは、唇がしまつて

玉子、呼及などを添べたお子様、

パンの上に際上質い多いハム、

消化よく美味し ハム玉子トースト

にして片面にパタし強つておきま

パンは三弦原なに切りトース

トケチャップを五匙ほど加い、頭

第四局

職は自じ五歩道の局面

뫯步

ます。網に湯む沸し融と酢を入れ

□七五步9 □七五步9 ■范金斯 ○五五五歩15 (特時間各し時間) 歩 氏付温口 七 六 五 四 累量 |現村氏 | 時間||十十分分

> ଚ 0

長期月賦の店

明朝

堂

川賦規定カタロク那申込汉京記送里

朝鮮郵船定則出机

朝鮮運送株式會和大灣指統式資助代理

路船株式會赴代理店

蓄音器シコード

ラデオと楽器

愈々戰端開始

六段

飯

塚勘一

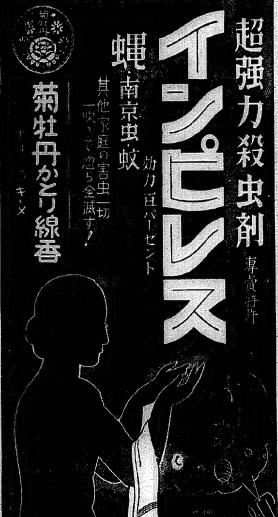
即

| 15 からしたの家族別想の変数を続け、この家族別想の変数を続け、この家族でものとなりま、除ししての家族でも必要なものとなりま、除ししての家族でも必要なものとなりま、除ししての家族でも必要なものとなりま、除ししての家族別想の変数を続け、この家族でものとなりま、除ししての家族でものとなりま、除ししての家族別想の変数を続け、この家族でものとなりま、除ししての家族別想の変数を続け、この家族でものとなりま、除ししての家族別想の変数を続け、この家族でものとなりま、除ししての家族でものとなりま、除しての家族でものとなりま、除ししての家族別想の変数を続け、この家族でものとなりま、除ししての家族別想の変数を続け、ちになりましたが、新しいら、一般力の歌だ。これは云本をも、とその手には来らなる。この家族でものとなりま、除ししての家族別想の変数を続け、ちになりましたが、新しいら、一般力の歌だ。これは本本の本語ととなる。との家族別想の変数を続け、ちになりましたが、新しいら、一般力の歌だ。これな本本で、七金田 横り、守護の強化を計ったもの、一般でも大が、新しいら、一般力の歌だ。これは本本を一と母野氏が常、対って後者を教の自由とさっと、一般力の歌だ。これは本本を一と母野氏が常、対って後者を教の自由とさっと、一般力の歌だ。これは本本を一と母野氏が常、対って後者の歌音と述かせて、三四四月、三五歩、八五個とした。そのまなが、「一位なりました。終りに駆き出 して。後手は歌の七九歩を横つと見撮。本体のしい狙りを含んである。で大き、変なの七九歩を横つと見撮。本体のしい狙りを含んである。で、一位なりは、一

すから、夏の柳畑にはふさはしら一天ブラにします。 常に さつばりした味になりま でとめ、メリケン奇の衣をつけて

中に豚肉を一切づく入れ、くるく

防腐劑を含まず 酔せず 新た合: 世: の 界: 社會式株造塵鮮大



他胃腸障害軆の疲れ 中城面被店 本剤の悪効▼ 新井東南東西 小村栗房(水 町) 一三 越(水 町)



等 保溫 材料販賣 京伊藤保溫工場等断

原語本局2一二三四番 田 勝三

歯いたくてたまうぬーチング

イケダ小兒內科病院 通傳染兩柄室完備 **产以落筑山町二丁目**

低利貸出 迅速有利 所在地店 **尽城府南大門通一丁目十九番**地 朝鮮信託株式會社 平群 壤、大邱、 咸興山、 釜山、 木浦 谷

②田品級年前本テクス段商元

② 網久芸

(發業案內增星) 多喜磨

りに出入を禁ず

運搬業者の整理組合で整理を行ひ

盗難その他の事故を撲滅

陰城郡民大會 北支皇軍に 感謝の打電

支那人の献金

維津府マーク

應募三千を突破 各方面の權威者を網羅する 審査員廿氏を委囑

川和剛権内収理組合」と政務一腕章を附し、常備人夫には門器を

動者關係には多少難大にしてゐた 構内作為に従事する事務員及び等の用入者は疑關で取締つてゐたが ころ無用の者の出入機増し殊に

門を開き各門に監視人を認置し組 るかも知れないが仕事か完全に一門、部町吉食通転削の門と南吻は たい、からいお脚とは何だか面門、部町吉食通転削の門と南吻は たい、からいお脚とは何だか面 倒で不便であると気道よ人もあいに質がした明して出人は感謝 構門で貨物の取扱ひをする人は即すること、なり直もに八月一日 る以下電水料理議合長の話即すること、なり直もに八月一日 る以下電水料理議合長の話

『『宗釈師で取締つてふたが』下に自治館に様内の歓声に寄り鑑 入株の鑑門鉱を渡し出様の鬱紫史 に觀謝文を打進した、なは歌楽、縦光、川高雕酢鬼構内の』して単容を源光弾化し黙聽推示の 常朋ゼレめその世一殿には各門で「獣、川湿部隧道・朝鮮祖司令賢穎

離その他の事故に對し遺憾なきを させ置りに出入を繋ずるものであ | 狭識文は次の通り

断地計画事業をもつてこの問題を つて明十三年度から五ヶ年鑑賞事

百製の設置をめざし大部署込みで一 計画選成に努めてゐる

清州農學校

蝶として加工せんとする第一期市 更し総銀数一千四十萬六千面をも め切れの平均行信局では計量を置

た結果、此處でも府常局の期待は 合せのため過股本所と折断を行つ る四側の國旗補助申酬之の他の打 打診労々一干四十萬六十國に對す 地計機事業に對する本版の意向を 自然に解決せしむべく第一期市街 流失、決治、療薬の流失、鹽蓄、間思北 1 骨を製づた薬師で遺路の 世紀根館は三十二萬四千大百六十 災害間断に百二十八ヶ所でその被 一想外に最大で造土木跳で調査した 四、三塚茂路は同三五七十二ヶ で五十九四一十三十四、建五百七 【満州】去月七日、十九日の隣夜 ろによれば、一、二価遺路の

■で右接性機能と近に自:十九萬 五千六百九十圓といる耳哨を示 張作地を施したが、目下復為工事 復都下車計職も着々伽めてゐる 未高層ではそれん

断で八十一萬五千六百九十國、

十三條の

十六ヶ所、五十八萬

殖產契增設

これ等を統配する必要に迫られた 【大邱】殷北道では農振の實施を

して理解的なものは現在の確康災、遺物資林内に影利服のまとい確認さ、林事務所内に木工部沿を開始して、 わけである、而して統制第一歩と

と関策の遂行に遊進せんことを 我等は國防の売費と就後の後

信じ此の陰極力是が徹底

戦を鋭敏せんとするものでこのた「奥を野及して戦山村の観測史生にるもの」にし内容を飛仏師光し金、強を討ると我に既山村に豪藤木丁の歌在「我歌起子歌世に戻られた「857木丁声牌を利服して林利の増

種々の弊害を虞れ

近つ学島民としての自

【大田】北支事態問題以來就後の 忠南當局のお達

世地元の林樂經營者時弘時右所門 館に木工工業を開始することに の同地に大規模な木工で国を建設

は多大の期待をかけてゐる グとして趣味ある

郷土藝術品が市 つてゐる、豐富な陽德山林をバッ 孤れるのも近日中と各方面で

三支那人が

入居付ける終了し撮楽も近日に迫平面山林館交部の時観で機械の勝

命谷照書名如初(以上廿九日和) 水周巡查(金基玉(清州)

既 露 鏡 臼 茵

同都光 微(永見)

长衛 (陰城)

既を質動に陳樹を残ったが支木同、東望してゐる。 既を質動に陳樹を残ったが去月二 | 既に有名な地方であるが変末同、東望してゐるが変末同、東望してゐる 内は鎌山地帯として全部

紺綬褒章を拜受

博物館に五萬圓寄附した

局でも致し方なくその機能らした

が耐として聞入れず返つて十億時出し整明書を取消すやう話し

川部では同脳民士権名を抗争してゐたもので去月

か同問題に附き機本内務主任は左

ません、選舉日割を同詞に通香川洞民の件は全然問題にな

合電社長の小倉氏

平澤の銃後

大いにし上げてゐる

権府民の要認も此處に建成する | 二期に職る外方法がなくなり第一 | 年内の管理は動成党策がないもの | なに診生さへもみないので前民ほ このようにしている。 「現在に我緊急を指しの表情であります。」となって、これが演奏方法は、歌ないなり造りない。 「現在に我緊急を指しの表情を表して、これが演奏方法は、歌なられた。」など、ファック・ド・エングス・カード子のは、一般のとは、「ないでは、このである。」と、アックラックを表している。 「現在に我緊急を指しの表情を表し、「ないでは、アックラック」と、カード子のようが、このである。「我々が毎日枕を高く毎日何の不一部にでも塞上げて下って、これが演奏方法は、歌なら小されてあるアラ・ギ・エングス・カード子のようにない。 「現在に我緊急を指しの表情を表し、「ないでは、アックラック」と、カード子のようにない。 「現在に我ないでは、同じの自然を高くのでは、同じの自然を高く他日何の不一部にでも塞上げて下り、これが演奏方法は、歌なられた。」と、「明を整理者」と、「明を表する、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」と、「明を表する」」と、「明を表する」と、「明を表する」」と、「明を表する」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明の本する」」と、「明を表する」、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」、「明を表する」」と、「明をままる」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する」」と、「明を表する。」と、「明を表する」」と、「明を表する。」と、「明を表する」」と、「明を表する。」と、「明を表する」」と、「明 心北の豪雨大祟り 8本年度(七月以降)は加重型五一新築放地は内傷町内鎮川町道近傍 る 【報門】戦戦・満州震撃戦移権「数手側で物称、近く起きに置きる、闘能を撤退されるがになった。地域してに着手。「然した結果、体際統領と言思しぬ、米里度から黄疸色を制化する事に に水池に架く離川江水電の新設数。 対し川道その他通常との影響を優した。「独等方はという現場を持ち、よを現行、終って脳底で影響を提出。 「一般は月面壁面がで取水し海岸が一角成たの駅川江本商の水角震域に 「一村の大相撲 「「「「「「「「「「「「」」」」 有力者を数量別、高中像かた上積量を都元するため常耳江の水を豊 したつた。許可像似に木林楽者の「一つ魔に健ふべきものと想定される 月三十 「日午後五時半城から宮殿」、既報の通り資水池江の水」で近く許可摺令を突突されること。 質歌、「斯俄等の態度は官の指定す」 に對しては十三ヶ様の條件を附し一度に經域せんとするもので施設、 【平區】平層道山林縣では随遠都「容奥すべく去る九年から陽遥点範」の本路に近い山東省威廉所である 被害總額百卅九萬圓突破 陽徳の鄕土藝術 道當局の復舊計畫本格化 **虚川江水電の新取水計畫に** 條件附きで 業育から原地の地内上帯記権理を 東至東郷山東郷を縁世してられが 年日十一時から歌郷記載を請員 [水回] 戦用の標準時年地では鑑り振り観測に鑑賞し近ので三十二日 | 「動」」 の 相書字 **歴に報酬せんとするもので郵談、 主線熱報用養を開始** 動し川道その修造最上の影響を極 本職等が観光地で興味用子市平台 式を駆け、終つて脳線で感要を受 対し川道その修造最上の影響を極 本職等が観光地で興味用子市平台 式を駆け、終つて脳線で感要を受 のたが九月までに魅動で感要を受 のたが九月までに勢力と表 の六萬八干郎と決定、土地質牧交 模範林の豊富な材料を利用 木材業者脅威輕減 愈よ大規模の木工工塲建設 金五英匯を客削したがその功労にに際し朝鮮関防部芸融資金として 戦らに面配間の指野を取けるのは、たところ、環撃日である去月三十野月僚になり國家非常時局に際し、て同過任語の劉聖家氏を領袖とし て質川郡山田大長替香山祠民 【宜川】面協議員補仲選挙を義つ、日割も通知セナ然も同氏の不動は 鎭川の煙草 面議補選から 月餘の縺れ 施政廿五周年 面長と洞民の對立 宣川郡下の不祥事 一級。産は実の物で到氏には個利なしと かですが向ふで置いてゐらる思びはありません、これの思い谁酸のゐる故趣には一 部にでも差上げて下さい。

||十萬府民の宿願 明年度實現案又も無残討死 人道橋お流 當分復活は絕望か

申請 までが二百十英国の 三型三 餌を要する第二人道機学設計費用 東六干圏に對する四階の國館補助 期の計選的にあつた總工費四百萬 志を招き取人後援倉、飛行協商者を招き取人後援倉、飛行協商者のでは三十一日振成那個 職事事能に國防献金組織等につき を打合せ實行委員を謂んで活躍

る一部分の主要演繹のみが僅かに「林その他工事体料が異常な問題を「ケス十二を影響もある監督院職なく「期前領地部職事業も緊急を要す」した。しかして仮容問としても經」「永同」根山郡郡川面では三十二分と語れな結果を生んだため、第一年間看到すれて 青川と林山

【大郎】大昭西江朝郷町南頭、南 日州署と共に同日午即九時全治路 韓合同市 写線 で上端灯事から夏遠端に登記を本 政部端々長小 人に開発した、右光楽に浴した小

りたいと存じます、何等の功勞も制御恩の意分の一にも酬ひ奉に感激に増へ主せん、この上とに感激に増へ主せん。この上と よげます丁度今日は形の命出にことは皆様のお蔭で取く御晩申もない老骨が有難き歴典に取る

は別に面長が過去ではありす

動が、目に見えない 人ばかりではなく絵のやうな大助

財政の検討で派角の登算が開除する

今春林内閣の成立による鳥屋

ものと思られてゐたところ、意外

ろとなり本年度復算に三十二萬国

架設補助費を批上、長年に言る

観は本府でもその必要を認るとこ

め過去十餘年來その實現を要望 來た大同江第二人道橋等設問

れ無残にも貨現一歩手前ではかな

も一朝の際と化したが、

清州高女校 器堂 上 東 大 盛大に舉行

で圧が韓国書を取得すやうい都に呼ばれて行きますと

から出たり引込んだ 私の母の別にダート 洞民の言ひ分

盛ですが、大

氏の手によって工事中であるが 一喪二年係題で清州織田國光 [活州] 低湖、高等女里校群党 徐氏の記念碑

盛大な除得式

氏の恩思に浴した延歩性の人々約であるが、道殿来向 | 正国雄一つ、ある人々的三百人母|
変要なられられる中国的のため病院 り機既代納して世人を歐洲せしめ の経金二白前間を過去二ケ年に百

あった。 名か、記念研究立の諸起り夫々 。延安原的新治路殿に

皮膚病を

しスッ

丰

尿城の泥棒

近年配中であったが廿九月夜京城 近犯人として京城西大門署から指 近れ人として京城西大門署から指 れたが下三百余便の大金を関中しるるところを元由署員に取押へらぬるところを元由署員に取押へらは、皆婚曆內上里一過京城 元山でお繩

の組織も虎穴のやうなもので、皮

を掲載して内閣林と申します。 事が甚だしく。治つても侵痕を何しても繋が中々に入りません。 原化了れば生命に関して来ます。一す。しかし皮膚チャージは整成分 時までも関します。金身タムシは一皮下の異化作用に相遇するからで らした皮膚がは、肌を軽くする 下に単喰ってゐる病菌を取りたく

滕田元山署長

立ち民衆野祭の本領を設理し

れ、はたけ あせも ムシ、 い皮膚病



が振能は皮脂腫

忠北醫官異動

遊遊 宮本 選夫 (音)

します歌ます鬼、海がし、ボーフに似て、がして肌を持しません。 質問な皮膚病の方もお飲めしあれ 手も(11)のやうに物態に培ひます



ひ養露、大豆、砂金、阿片の現金。まで定期自動車が運搬され、占城

地下は宛ら鑛業博物館 今ぞ開拓の時は來ぬ

十二萬七千四百五人を第上態産党職、特に大豆・増川炭清々と産幽郷の大なるを以て着期し難能疾順の型意にして脳路戦闘祭が兵……欧朝北増の鎌郡、九郎日二十二ヶ里に分れ絵面積合人十二方里を超ゆ、昭和十年末絵説自口二萬四百九十六戸 急ぎつくあり、明年三月には韓王開通の豫矩で全都護山の密動力化を近い明囲参幸な明日を控へた維那である 翌山場川州郡内に於て百萬キロの龍県を開露せんとする野口コンツエルンの駿川江水環は現に端豊穣道七十五キロの工を 郡、昌建等に漁港修案の聖報題る機然である。韓川公園、新七鶴、韓川城地、松坪松郎、遊仙器、寄物等の名願もある。 **馬泉みな掘る開拓の瞳光だ、見よ!臨川郡の軍かしい質相を、地下は全郡子縣の鷹楽大博物館、徳に恵まれの漁民は進の** 能むに伴い輝かしき開拓の時は迫つた、海は壁、明太魚の好遊場であるが海岸區曲に乏しく汝華津、沙富

お、多幸なる雄郡の貌よ

端川地方振興委員會

川海陸みな資源 惜しい事に港がない |日||の||大||端||川||を||語

生活は出戦的経験であります、金

地下は悉く金、銀、銅、鰤、マグ 郷十八万里の八側五分は断と川で

見されました。然し交通不便のた ネサイト、カドミウム、ニッケル

大川流域の地下資源が世に出る

を設置しましたが租港がありません、船番しい事には十一回

十般萬間を投じて高路取修に著手

修計数もあり是を関下して選卵面 面ニッケル銀山附近までの道路改 を終つて送前待機中で近く南斗日 し、北斗日面の日本職業は大新里 ちやありませんから近く南大川北 ・新郷里間の道路監修費を寄附し まで自動車道路の完成も遅い将来

収入が普通白恵間を下いず農家の一里から宇那紫素硫化酸西山までは

館南大局線、加も温泉面から北斗 且面に適する自動用消路も何時に つた結果、先別都守の談にあつた 末書局半不足のため咸南に郷

かつたものが明十二年度完成とい

後で麻大川、麻大川の取修も終る金安培権氏 明年度から三ヶ平部 から是に伴つて橋も架かる、邑内 **蒸運動の腹がない、此の情勢を害** 安定し、誉での思想運動でも近來 動きさべすれば食ふに掘りね…目 即長行政に協力してみます、所謂 遊んで地方振興運動に入り原面の 能に歸しました、從つて民心則ら と何多面、磁塩面との連絡も装に 側川原氣で何處にも仕事がある。 || 思想も平靜化 || 指導開催によって現在は至く平 本部の思想運動は不断 年の登集者金貨附などがあります。行成権人の數数、思想傾向が 三名に貸付して居まずが例の端川 この資金は金組程度の利子で現在 ◆毛利氏 右の外に中里南年勝四 事件總指揮者であった窓均得など 月十日で全部終了の豫定です ▲安培祖氏 この婦人語習慣に六 激し既に五ヶ所六百名の議習を とする移動式の中組織習慣を計してはコケ月乃至ニケ月を預期

を廣光し既に十九國防義語分割と を事に劣の國防義領、國防婦人會「能生の端川毘伽で監監護者」が15、在結果、基底能く定案の内容も指して、用水は現在でも雙質です。全事に劣の國防義領、國防婦人會「能生の端川毘伽で監護者」という。旅が、水路の買取その他修繕で再に多の「欧良に努力せねばならぬと思想して被禁に國家的思想を問題で 単して被罪に顕蒙的思想を啓治す 上國防婦人爾分爾を設け前式三千 いても建文に適におしな品のりで、政権も九十九名に選一戦四様範様

地方振興風動に併行させ思想書書 の効果を駆けたいと思って指ます かありません、交通機関の整備と ▲串画氏 本輩の推定學師児童數 萬二、二千人…これに公豊四十

一家分が遺跡になって行きます 堂の開設希望が多く教育展長の経 ならどんな無理な器別もいとは以 第二次権元計画で



話特質を利用

の部の各種施設はウント伸びます 川の蝦貫でせる、理事さんのお人。一面都紫の鎌ひはあるが是が端川 やうに臨豐職道の人たでも頂鮮か のやうに海に適し警長さんの言の 移入した人夫に比べて強い。こ

中島氏 金融退合から見た端川 は他に出して顔る恵まれて思ま す、小作人が少く窓の程度が平 りして異る。 ─ 純益威南第一 ||

東等項を経すばかりであります。 ・ 選手の第二の網会等です。 ・ この大解 ・ にいる様のである。 ・ にいる様のである。 ・ にいる様のである。 ・ にいる様のである。 ・ にいる様のである。 ・ にいるが、 ・ にいる かしい朝鮮産米史に特取さるべき 比は島根の産、佛家の出身に

|| 劍が溺れた話 ||

盟居氏 増川も続りましたね! 慶、ついに目的の意意調査に

端川郡廳會議室 昭和十二年五月二十八日

中常川高司氏、同恋菜和合理革命派費氏、同水利組合理事中基督士一氏、端川公營校長建圖定市氏、同小學校長建屬定市氏、同小學校長建屬建合 【人】端川郡守安连桓氏。同西籍老住牧治学氏、端川祭委 素晴し 台の一つです羅威外に八十間形の ン教育熱

出事業の観異に伴って教育総任義 親が観失した、いくに探してもあ 撃滅ちや一別五分見話の吹狩力し、難して危く土を配門です、出選 おる時に生催の荒天でホートが概 された工務課長が汝南部に上降さ 人體がよりでやつと引上行たが興

なく大正初期から端川郡波道面景 創言二十一年朝のべき一切の他力 |||海の慄騎兵だが ||| 質能などには、便早い船で出た

でなけりや石一園五十銭も安い、州あたりからも出まずが端川波部 だけは全く日本一です 地の農家に不可缺の品で城市・吉 取引されます、線肥作動として内川炭酢の一等がご個五十銭も高く 價格もオヒアルコンの務等より概 が研究、改良、均産の結果平年で だから何とかして増州から出荷し 十萬以百萬圓の移出を見るに至り 職までは無關心であった内地仕間 ▲害止風氏 私は商糧極端川大豆 に関して総じます、大正三、四年 心害心して居ます、喘川淡南

廣泉酒

會株 社式 會合 社資 會株社式 西 間 松 本 松

組



學整派工場の脱粋木材は営分本さ紀年十萬尺籍第代撰される北條化領や管山郡天寶面から今後十ヶ年

問題で陸上げされる脳など考り

署

然し岩壁観道の起工に伊い戸口獣スケ里、一千六百戸約九千人です

端川穀物檢查所

丸子回牛

三堂藥房

戸口を示して居まずが市館地は十二年分でれ、下八百戸一萬六百人の 四は面積三五里、これが三十ヶ里

| 事実駆氏 | 四内面としての波

|| 市街計畫大觀 ||

朝鮮電氣整會社

端

川

漁業組

合

端川金融組合

端川

一支 店業銀行

端川派出所

昌沙汝 富海 津津津

築港期成會

利語は人工を要せぬ天然の良滞がないのは場川一部です、隣郷安培相氏、議暦道内で海の設備

増しつゝあり奥地の豊富な地下香

速、運輸動力等の關係上い 母、マグネサイト、ニックル 高、東代語、亜鉛、黒鉛、紫 内の地下資源は金、銀、鯛、 まだ部行に至らず休業、試施 を通じて五十歳風、四千八百 昭和十一年末現職に依れば当 資源は金、銀、銅 所まで自動車を通する、割っ 健、鉛座船舗で昨年九月深線 題町開発の内二ノ二二に本証。までもなく日本職業は東京市 紫伊野から北西廿四里、事務 大日鑑の経数する税御蟹山は 北半月頭新属里に在る 檢德鑛山

非至三名に建し文盲型治の歌と 二名、水脈高度卒一名、即紀短 勝事卒一名、中紀を

事績の概報を申し上げれば山形事業に属手を伸ばして居ますが

環利風積があり現に組合設同学の 北斗日面龍川里大同途山事 あります、金融機關としては商銀れて二十萬国の基金募集計選中で 文店、金組があり面低の水道工庫

||模範水利組合||

べき飛躍を見せるであらうにあり明日の繊維福川は常く

如く自動車道路、端型線道、

たね、然し即項階級解記事の 出願中のもの四十四周に遂ず

支社を育しその朝鮮産金代にを、京城府莆山町二ノ三一に

れ市街計畫の急騰を隠じて本年度市場活況を加ふるものと確信せら

川

廳

用地は寄附、工費は受給者資格

れば今後物質の需給は統大増加

流は城市野職器介氏の經費で

得には大千面の地元客間で近く死

に背美中等學技術成質が組織面に着手する象定であり二ヶ月前

端川邑內公丁學

校團

田せる足跡は像大である「窓

「金を賃削し工具」「最を取削して家」はお風密の複響がありましたが用して居ませんから今後ウント懸氷を膨戦して屠たのに首先十個の済」の組合で明和三年には大沢水に嫂」まで、然し収量は反常り、石に選を彫載して屠たのに首先十個の済」の組合で明和三年には大沢水に嫂」まで、然し収量は反常り、石に選びでありる程手にしてくれぬたの間部が出一合け事し上げます。四百三十町は「将来は組合に編入する機造でありる程手にしてくれぬたの間部を徴戦して民ますから一つ数形中末立を習得して興かたが診察して民ますから 八名を使用して変に十二個まで動。次元費して現在では組合数の設议。服の節地はあると思ふがま 中です の昭和一年十一月竣工しました。 ニスピード工事

といふ暖動鐵道未曾有ので、年上、第二十二月加島地ののます、昨年十二月加島地ののます、昨年十二月加島地のます。

輝く端川淡青三 地域の関係上四分元

川邑內 水

利 組

組 台

合 貿易商馬 咸南端川邑內 IE 鳳

端與 川出二八株式 玩張會

永所社 [

組

合 署

常館

電威樂話南 二端一川番邑園

鐵道局端川醫務局

參柳

咸範

根

會嚴厲

根

金 金 守

咸南端川邑內

貿易商

一安培祖氏 先づ韓川郡の構況を 黒路等の選妹で形立は自金まで起

し上げます、産業の大宗は農業

の二、三位、本道の一・二位を明一十が幽野観道の歌歌に伴り古城里 め未移行の嚢脈が多いのでありま

◆牧氏 今朝道士木鴻湖地技師が | 望外の福音來 | |

子供は順言元素で忍耐の実風がとして更に計畫を大きくする必として更に計畫を大きくする必

峏川漁港修築

昨夏期成會を組織

原剣な活動を續く

て獨力よく堂々七十五町歩の大水温里の沼澤地の刊拓事県に収念し

端川家具

組

組

軍國を彩る明朗圖繪

て〇〇略頭で動ましい意取出陣の 拾ひ集め、非常時局に聞める中島

きあげた後に、フォームや線路に 金属玉さん)

社に満せて力いつばい太鼓を叩い。陳太鼓を打鳴らし、潮がサットひ(人の遥い顕家な難に各方面をいた 提舞、白峰猫の老人の弦が いたやうに「皇軍萬畿」の人々がひ く問題させてゐる 「恩真は颶頭の

例明する軍歌と時々超る英酸の悉一歌心な宇島の老媛國者で、事態彩。の足に踏まれてはもつたいない」 であなた 方を お泊め した実第で、子さんは蛇蝎九ヶ月の身重な上に「き取り我が子の様に覚すさんを可 -- これをかきたてるやうにドー一部以来風子の金大路君(いる地れ と太波を抱へながら一枚も残さず

残念さを皇軍激勵に 一線に立てぬ

一同に代って領海網を寄じ出した。ひを置っために総議した上、同署ない、川郷に職して収算上等共は、門本同治女や太同浩戦は後期の襲射士の人道は監議して会策も出しるやうに関じられた。このとき派射士の人道は監議して

女とえの子もやん(デ)が後に残つ ん(こが危筋の上に五ッになる長

未ご開題の見込ほ立たない

然初の如き歌呼の中に立つ

に獅子伽迅の活躍を取けてある。

ことが出来た動士は北支

- く軍國に吹き出でた

れた一般的者の数少の手に取職、附近ひ人を確ひ、入院神や治院数、層狀は到一刻原化、生命の行にも

く行まった。このとき苦し俳べ

ある、言子がの頭土も過過

まった。それではといふので黒海、て、夫人は同病院の内替人院治でなった。それではといふので黒海、て、夫人は同病院の内替人院治で 署長は署内の規律領で安康天人の一道い節後の同情に懲誤してあるが 見主任の家にいきとしれることに、は佐藤原花園院長の同様に全がご

心間には太鼓を叩いてゐました。 で、せめて陣太鼓でも叩いて軍隊 当に行けぬのは残念です、文明 を激励しようと思つてからして任 つと削から朝鮮神宮の修奈殿早 ひましたが募集が中止になったの でえんの義勇既に参加しようと思、日出てゐます 義勇圏も志願した金さんの談

佰なき五勇士に

・南苑の花ご散る

も及ばれ糸長さん

でせら、私の宅へお出で下さい」「都蔵でそれ」「窓牌の好い一夜をでしる人が『都がなくてお届り、決し、五野江京館のこるも五つの大へ」さんが『都がなくてお届り、決し、五野江京館の「まる五つの 五名の野土を自分の家に連れ縁。あかした、女将トナさんの家配で

紺綬褒章下賜

電元根、川島県二部、李熙安、上田君天郎 ・ の野光州府、推相数が根源線、池島宮、親徐蛟、関辺版、 ・ の野光州府、推相数が根源線、池島宮、親徐蛟、関辺版、

光榮に浴した朝鮮の九氏

遺兒が紅葉の合掌

南雲部隊四將校の家

しがつてゐるのも関れであつた、「世話、近く中間に點過する象定で内が際に厭やかになつたことを疑」上げた努力家で、昭和十年少聞に

「動きない」と何事も知らず用機をでなっ 那近江村田身、二等卒からたたき、「動きた」と何事も知らず用機をでなっ おかしい 財件職を大郎氏しまいた工気少男な中人(イン)養子らやん(ナンボ・漁戦で出発な難なとなって現底のように関いている。 那ば江村田身、二等卒からたたき

「本人」でくやつて受れたより部社、れてある、最が書の観音では裏口 地文の無野に勝國の鬼と化した朝、がカッと思り立て理事に関す。まれる「長典よより原田少尉、社会出した無害部隊の殿駐地では、度に得き、馬がの様に観測に関す。まれる「長典よより原田少尉、社会の職能に名誉の服死を遂げ、「もせ以木の薬を逃して異態の議光」時能に侵害は決めてゐました」

ため〇〇にかけつけたが、深夜の も「僕の部屋」「私の六昼き」と 『朝鮮東司令部蔵説』去る日上祭 ために副居を都合してあげて下さ、「明鮮東司令部蔵説』去る日上祭 ために副居を都合してあげて下さ 上に土地不案内で商店に困つてゐ、女将對下宿人の。部屋提供に賜す

甲に同衛人も非常的線レ「熊士の「々が線まって艦大な塵跡を破ったかなかつたので、トナさんは黄安、郷土を中心にトナさんや下衛の人のた、生情と下衛は南域で本部屋、勇食は五郎士瀬郡郷に早蝿りし、

ぢらしや霊前に

女の俊子もやん(*)流石にもの心 (」と)にすがつて泣いてゐるのは長

いた俊子もやんはお父もやんと

会は伊藤、千葉兩少尉

|鉢卷の陣太鼓 フオームの紙屑まで淸掃する 髯の愛國者企興玉君

部令司軍鮮朝 たっては抄兵上等兵として戦戦化 知った反域元町二十目七六の米数に向ったが城の堡ナさんで、ほ 甲基菌の銀下マスチさんでもは 下級で1とや私のことは心路せ 一覧すさん、側手人が踊られる ・元系で御屋のため風して下 まで私の家にお出でなさい 直返さい 1 班受刑三六排與間五十届代志美 | 寄せてゐた、この氣の雨な事實を

||面倒を見る

奇特な森下やすさん

ちぎれて落ちた紙の日章族を「人」限さなかった、せめての製版とし、と夫の出社を激励したもの人、愛」とこの程度子さんと家族意具を引

|ばロトナさんの立派な行為に搬兵 にたも、町内の人々も厚い同情を に龍山滅兵分談でも懸むしてある す」とハッキリ別紀した、男も及身帯もなく、たちまち生活の苦境。愛がつてゐるといふ美はしい風景

心殘る病妻と二兒

勇士の懊惱に救ひの手を伸べた

って世話

こした人貌で双葉山後提頭、特石帯景大僧撲廓三日目の二目は伝然

《本大會及翻鮮中學校新記錄》

本町署司法王任夫人

安義地方の豪雨

各河川氾濫、家屋流失

て朝館単に報告することになって躓ることになった 勇士の残した

既でも残く感謝し、銃後の著行者

世家族に贈り、また物品も割引し

総店はで出価軍人後援資を設け、

と田証家族を数へ - 統後を固め 三越京城支店では支店長以下

一越銃後奉仕

三誌開館の出征軍人家声後援のた

重型素が助の適用されるのは大正、及は自動的等に観察させるなど最悪がを公布することとなった、能、第一級にある異合等は線度の配給を必須では三日附門網を以って、以上は企を保験せられ、運じ組織を外頭車では三日附門網を以って、以に自分を保験せられ、運じ組織を外頭車では三日附門網を以って、以に自分を保験せられ、運じ組織を表す。 【東京電話】北支軍艦の道大性に「信託者」以属版「航学職隊者等 四年の日蜀職筆以来初めてのこ。道の職士に力強い支援が充分に則 この規則施行により現地に へられるわけである

愛の手にすつかり「お母もやん、 大阪に命程中であつた総岩は二日供は二見主任の夫人なみ子さんの 三時四十五分来場、同時関領保証 与時間的問題となった。二人の子一缺かしたことのない南部信は午後

び令襲と夫人の膝にゐるのが宏樹を送つてゐる (鳥質は二見夫人及

お母もやん」となついて幸福な日

氏の子えな子もやんご

東京大相撲

三日目

けふ鏡岩出場

全鮮中等陸上選手權

上六時終了した 酒 三巴自慢 全館中市等級校館上面控討投送手版| 鉄及本大倉町 記数 2 未得 画 東道師田で報行、結局各種日上版 (景徳) 3 茶魚魚 (養旺) では記述田でな行、結局各種日上版 お) 二三种八支線子像 (発旺) でに採掘を加へた総成高度が三年 3 茶魚四 (平内)

駅の盛況振りを示し、初日から | 校)三二位 | 一(衝鮮中等 新記 ◆6時間一部状勝 1馬雑酉町鑑課組合の機関があり、大人 ◆三百米一部状勝 1金拾澤(培 | 朴尹鏞(培材)「四四米○元2季永浩(培垣)・明朝、野山関連派行往に | 2斉正3月 四四米○五2季永浩(培材)。

各校總得點

7光成品費三二8億文一九9米5京助五三6平線品費三天・五3一川商業七二4字熟送電五九

【新疆州電話】、日末明より同境を残った範囲は逆に紫風顔と化し、日午後五時頃まで引切りなしに

鐵道の不通個所なほ復舊せず

三時までの新義州の疏雨量に百州四ミリの近年にない限策を示した、匈既義の京義義内島、奥猷間も混織の破職を各所に現出した板壁は目下副が中で詳細は戦明しないが相等異大による弘弘で11日子後間り配き、このため新韓州、頭州、祖川各邦僧内の各神川は濃潔し英連社総、素献建水流光、常僧記聞り配き、このため新韓州、頭州、祖川各邦僧内の各神川は濃潔し英連社総、素献建水流光、常僧記 疏れてみるが、三百までには上流から相當無劣せ正岸は波水するものと見られ、安義の防水防酸・ ・ 新選州数隔楼橋に於て三日午後三時三米二一で安華側線洋塘とすれく〜に水が溢れて

単行、液明高女が庭勘した 使五時から京城第一高女コートで 中等模技簡様大會決齢限は二日午 淑明優勝 衛星

118) 19 高原城女

江界都。高山面の美他湖、浦上湖町の國境道路前道し目下江界土木青崎より出版復海に努めて 22 (13 9

「かねて発質はして磨ましたが」 一部一つみせない、としずもやんで の丁克敷校も二番の成職で卒業したが、 かけてゐる、夫人春代さんごとは、人職後は通信院となり三ヶ月修業 別活動として加騰部隊に入隊し、 除に在つては平時でも質量の時で 第一級に活躍したが、昭和十年特 も常に率先して上資を握け、兵士 兵から叩上げた 酒井清三郎大尉 常に、床の下にビストルを入れ女ながらも繁腐の第一線に起ち丈夫な人で、瀬洲に在つた時も

大田電話」自然の微戦に鈴木部 ったと存じます」 さすが氣丈の夫人

既に参加し、蘇々たる武動をたて

いて来た、あく那肚、「「の間から」のるいちらしい姿に形間谷の源をに訪れた配客に人なつこく抱きつ。何度もく、頭をベコリーとげて

愛動機と電信に

れてゐるあや子ちやんつとは形間まりお父さまの位際に手を合せて

口他前の夫人留子さん(こ)に抱か一のやらなお手々をたい歌へられた

眼を資赤に泣きはらしてゐる山へ、淡隆ちゃんこうは可愛い木の葉

こちやん(デンが構しく留等を守つ の産、賃金にはよしの夫人(で)保一想つて來る

武勝准制の資金には帯間客がつめ

即大戦へこの既然に用感を表した。大尉は魔北定東守備隊の「兵卒を登に名響の魔蛇を養けた養井海三。せて明問後を影響せしめた、海井 帰地には今は無き放人の男妻 振り出しに発に大尉まで進設した 動め、好人知己も多い、家庭には せて用間を整数なしめた。変としての整倍を 子夫人との間に高女一年生春日 立志傳中の人で、大田には大年

けふの天氣

事變從軍記者の 身分を保障 日獨戰爭以來の適用

三日目勝負

34億分 今夏最高に 寒苦しい

といふのだから形然しいの何 しろ 十九 年振りの器さ 「語い」「語い」といふ説

年になってからの最高語彙 提は三十四度六分で正に今 光もだが、二日の最高温

四日日取組

まだ原しくなりさらもない

時際語り」とあればまだ

である、三日の豫報は「明

正)一六秒七2雖詢成(光成)

2羅納成 (光成) 3李

● 地名拉斯 1 有代(日間) ● 地名拉西姆 1 有代(日間) ● 地名拉西姆斯 1 有代(日間) 三十二十二之 南朗斯 (培材) 3 差示符 (學文) 材)三〇米七九2要 正著(徹 ▲四百米二部決勝 文 3周嗣(登正) 2条頻霏(平高)筋 1李春培(培

内鮮人を問はず乳母至急人川希望者は本人内鮮人を問はず乳母至急人川希望者は本人

用

下宿を求むた発力至大を

福鑛業株式會社

店 関 弥集内館人にして十 原書携帯本人派にあれ 京城北米倉町六 笠本適店

日半午ごろが脳及び火車塩を飲趣され自下本館も問題の危機に敵してゐる「日半午ごろが脳及び火車塩を飲むり、部選民は自下高古に避餓中である、交回総名物の理では温泉郷須州ライオンホテルは二日が

姚州郡 百八十六ミリといふ近年にない最初の陸間散セホし沿岸の各部落に金原役水し流失来

圏は徳駒貝で蘇戎中である

別案内

星醫

^盛 門院

難り度し

姓名在

伽進物は金華饅頭を

紙價 事に 自今 決圖の C議仕候間此段暗画書の定價を二割の暴騰諸材料の原 段廣告候也一割内外引上で ぐ 因るり

昭 和 月

日 本 出 版協會加盟

東 阪圖書出版業組合 京出版協 版業

喧痛が治る チスと

クロダ歯科

早く取れるのに驚く節々や筋肉の痛みの

※ 京口 余内

敬行をしてやって下さいませっ

語の詩歌金書(二)陸軍大阪日七時一分(東)朝の修養

手品師三、小貴茲樂圃舞曲(波行遊館=ラ・クラケット』(三)

政策をしてやつて下さいませ、世 同七時一分9ら四五年、みつしりと此のその 同七時 天

何と申しませると、数方にこそ、

しく存じて思りました、三郎が

同六時三五分(東)英語宮監督

一、小青被禁行連曲『鹿しき職

カ (第一夜)次郎長外傳の戦 同七時三〇分(山)連鎖道

(京城は第二放送)

放

後の赤崎・内務局長

洞八時(恵) 室内樂

名大水後、(名古屋)開推を極めて殆ど昔の

大行・中部一その膨脹は証券を遵くつくじを

くその間に役あり、泉湧き、清整

便を掛け立を詩仙堂と名付けた、 四年に適当医宗の詩人三十六人の 京都一飛寺に騒を結び、その魅の **阿九時三〇分(東)時報外**

語の語歌金音(三)。 ・ 一部七時一分(東)朝の修済、澄

日 (水)

午後安持五分(城)落語。 酢豆腐 建聚物土、黑锅等 建聚

午前六時(恵)ラチ

言つてお聞かせになるやうに、

日(火) 放 送

(国) 木ギと小電数

同六時五五分(東)コドモの新闻同六時五〇分(東)コドモの新闻

局と隣民の遺儀・京城帝國大學・一局と隣民の遺儀・京城帝國大學・一一中籍・一中籍・ 岡九時(里)諸道 心身の騒錬に 議長 文學博士 選水 揺

同六時至O分(大) 幼兒

二、山口馬天然記念の 配営の

廣島山師助教授

んなに弾心法下きるお言葉聞つて いませら、それを、昔方が、第に Mといぶ無景な事を申すのでござ 踊りの那屋で刷つて居りますと、 定義になりますので、先題から、

心中を一関か申上げるのかと、

図して素質大人の信頼の意義を「同七時』〇分(第)気楽画報でたられて、憲三は無子には、獅子を「同九時』〇分(第)気楽画報がある。

| 同四時 ニュース (家楽画帯・路) | 同一時(京) | 所象都市對抗 | 同一時(京) | 所象都市對抗 | 現象時五〇分(東) ラギオ脂類 | 現象時三〇分 ニュース

中本アマ界一同六春三〇分

「勿識、機は、學者に窮して、家一同一の分三〇名ともよりかねた。

て、中華以上の教育を受ける質に

進適當な敬師を得たいと申 すから、此の子にもう四五年、み

としてやつてみないのだと何じま

傳の…石松 清水次即長

然下田の久六を親分文郎長がい仇討で惡大官武垣三郎兵衛士郎名古屋のしゃちほこ長兵

文久二年六月半ばの邀寅、

いやうだつたら、第八來で戴くや「者といふ方をお願ひして、少して「り、苦むす騷け籠あらら、次駆長」

も、此の子を備て、一人前のつも、鳥内でその名も高い流州森の笹松

要求前についても、本人のこれが「せたいと思つて居るのでございま」たやお茶摘みに、歌ぶ乙女の仇義

ちつかり、助言者とか指導、敵を插大洞院、御影の井戸の片邊

つて、さそはれるまとことを自しても3

ふので、そこは取言つた

思慮分別をつけてから、世に立た、資州森町よい茶の出とこ、蝦やりつしりと観査を受けさせた上で、「底行けば麻薬の道に茶の香り、

三郎をお食はせして、お店によつ

私も、これの知もおめにか

幅しいのですが、その気に無弦な

と説数なさる方も多いので、らつ本家にして、事業をさせやうなど

俗じて、自分もその前に触かけ、 雑館夫人は、鴈二をもとの樹子に つきながらもお酢銭をし返した。 には腐たけた中年の夫人が、彼 めいたので、はつと身を退くと、そ

五年、敬歌を受けるよりは、直ぐ も申しましたやうに、御子息は四

にも事業家として世に立ちたい

なに幸ひだったかと、私は歌ん

澤小段五

が、いらしつて下すったのはどん のでございます、貴方のやうな方

立ち上る者(計)

[117]

白き手の人々

行手を進るやうに立つてあた。

れをなしたのでする

いふやうなお言葉なので、後は恐一で居りまする

は三郎の母でございます」

丁既に前郷されて、 据二はたじ

腿につけて、親戚や、知人の間で

してから、多好の財産があるのを

此の子が交を失くしま

まで未知の青年に口数を重ねた も、先母から歌々に信頼が深めら

治秀

既倉夫人が日頃になく、此の合

も、何かと此の子を名義だけの資

黒ロボル刧取ロ五六の所白ロ六二効取ロ五六の上

敗戦聲明 覆面道人

十六の上の縣鬼で、縣はその縣をれは昨日の縣百五十三が、白百五

それは本局を保存のため

の難の跡を再放討することにする

より白百六十四宮を再歌し、調者

そして明日は例によって、黙

ので、憎しくも自百六十四を以つ

て投げ、気の敗職が明となった 誤の面目にからはる不穏越といふ

次局は二勝者戦

が、見渡す所、黒に動立てがない れて、後も要するに白百五十八の

「左角に、交旅効野熊開ではある 次に白百六十四と、白に劫を勝た

といふ場面で、これ以上の

明禄に黒寶け、と云ふ衣第一勝ちだと、次に白(い)でこれは

独立:00

かくて黒百六十三も坊立てたが

劫立てが無い

十四より百六十四を

劫取りといる即ちその劫事が本日

前に同様二層した開谷二段があり

る気でゐて下さいね、おはさんも んを先生にして、四五十、勉強す 三郎さん、貴方は、此の竹下さ れて来たからだった。

來す、私もほとノ人困つて語りま 子をかち上つて、鷹一の間に頭を 然としてゐた三郎は、いきなり何 その他の言葉に、さつきから默

指導者となって下さい・・・ から果びます、そして永久に関の い、関に五年でも六年でも、貴方 Fどうぞ、僕の先生になって下さ

時局講演 八四

時局と國民の遺悟

城大總長

速

本日は白百五十四からで、白百一白百五十六と幼取りの幼立て。そ

次に黒百五十七以下、自百六十一いに期待していたせきたい

持越しの次第

五十四は第日五十五と替って次に

評者は劫争案内役

るこの古家と新進の一騎打ちを大 ス局はこの 二勝者同志の 対局とな

寸調のしみ出っやうな感じを受け 三郎の筆直な言葉に、第二は一



っなるであららか、憂感に堪 ないものであったのである

ラ

F

7

造と石松

- て郷国一数の状態となり

交事態が今後如何に膨脹する 機根が徹底筋に構造されるま が登測を許さないものがある でには相當の勝日を要する、 しかし時局の依つて生じた

が知きものあるのは日本國民 精神の特色として誠に称ばし あってはないね

みならず、愛國の熱語燃ゆる 夫等の相前服既が解消したの いつれにしても現下破簸興隆 の開雅が摩包される いっちる日本國民の前途に 加してこの基礎を

らを総多の例によって述べて見

点、時間に對了一個漢が、時 して二大後66下に協同 は問題さな意味に於ける幾多 吾々は充分に此點を自愛

加强专川和春

借り、十四日に返すと幻楽したが、ころ、こうで得えて気しい小松村 返せないので壁に十八日まで延期 石松は無頭のまった的 のし近郎に置らずも置いといるこ

銀閣寺月沐泉

巨大阪商船脈出帆

原語春川支 原語春川支 歴

つたと都島兄弟が千分から含は「つてゐるのを知つてだまして愈を「殿、後に觀響に敬められた銀報寺が力を入れて湖道」の限分にな「衆つきた都島兄弟は石松が愈を持、風流を好んだ足利養処の膨変東山めたの免るつた。大関田英五郎「衆つきた都島兄弟は石大の金を持、風流を攻れた足利養処の膨変東山のて、さそはれるまとに足を汨・離別職者の花會に行く愈がなく萬(銀陽寺境内より中職生)つて、さそはれるまとに足を汨・離別職者の花會に行く愈がなく萬(銀陽寺境内より中職生) 大文字山上り流れる水が断量にか よって脳の心臓内帯腸の地を占め が、林泉の布置造場が翻選用権のは、途側の強蓋は世に関えてある 極致である光月景は異観の句配に

茂 響と実に膨肥されたもので義認が 花 露路の石墨(俗にあられこぼし) として難水が溢れ薄いてある 詩仙堂庭園の添水

四、由山村寺・外郷埋、茶頭歌・外高添

· 一定 「地画行」日本連絡毎日金 「地画行」日本連絡毎日金

英四階 一〇六

石川大山が寛本十八年世を遊れて

詩山堂境内より中華に民都市修學院一張寺町

梛兵町停留場!少南/午後往診) 呶府漢江通三!一八/午前宅診)

事記龍山(4)——七二番

柳醫院

に避ふことである。 は、精神内置を一 無理をするのは昼職 の具盤鍵といふこ

盟野

てくし味な的資経ない。

浦里、南兀神 **建蓝金** 秦山行(急行)品計回夜半十 ○元山田村○元山田村毎日午後五時○田田村

山季強山運輸出

及自山丸。 羅北 日 海北五日 医自山丸 羅北 日 海北五日 海岸六日 海岸六日

利應說

欧海衛、芝罘、大連行 阿波共同汽船സ出帆

大和組回漕部

現場しのに云番

長州丸

「大月十一日 成語」と称。
 「八月十一日 成語」と称。
 「八月十一日 成語」と称。
 「八月十一日 成語」と称。
 「八月十一日 成語」をおり、
 「八月十一日 成語」をおり、
 「八月十一日 成語」と称。
 「八月十一日 成語」をおり、
 「八月十一日 成語」をおり、
 「一一日 成語」をおり、
 「一一日 成語」と答。
 「一一日 成語」と答。
 「一一日 成語」と答。
 「一一日 成語」と答。
 「一一日 成語」と答。
 「一」 「一日 成語」と答。
 「一」 「一日 成語」と答。
 「一」 「一日 成語」と答。
 「一」 「一日 成語」と述り、
 「一」 「日 成語」と答。
 「一」 「日 成語」と答。

内鮮運輸

西 项 远 五一六唐五七五备 西 项 远 五一六唐五七五备

第二次 八月五 日 七 日 野田 文、阪湖行政的提出部 八月八 日 十日 京 春 九 八月八 日 十日 四十八 取時,京遠行

在一个工艺出机设定 医野茶瓶部 医野茶瓶部

朝鮮郵船駐出机

 「一」 「一

○四本、大沙(
○四本 伊浦麗行 金剛山丸 建基面目 无由异日 清晰三日 建基面目 无由异日 清晰三日 建二日 经出口日日 未新船位用日外 唐 安 丸 城市五日 清神七日 松野山丸 城市五日 清神七日